

5884

# 教 授 要 目

付 研究指導要項

昭和 55 年度

小樽商科大学

# 小樽商科大学教授要目

## 目次

### ○学 年 歴

I 授業科目履修方法	1
1 昭和55年度開講科目	1
2 履 修 方 法	6
3 科目試験の受験について	30
II 教 授 要 目	31
1 一般教育科目	31
2 外国語科目	37
3 保健体育科目	58
4 基礎教育科目	62
5 専門教育科目	66
6 教 職 科 目	98
III 研究指導要項	101

目 次

学 年 曆 (昭和55年度)

昭和55年	4月1日(火)	前期開始
	4月19日(土)	入学式
	4月21日(月)	2, 3, 4年次開講
	4月21日(月) ~ 4月23日(水)	新入生オリエンテーション
	4月24日(木)	1年次開講
	5月12日(月)	履修届締切日
	7月7日(月)	創立記念日
	7月11日(金) ~ 7月23日(水)	履修科目の取消期間
	7月21日(月) ~ 7月26日(土)	集中講義
	7月24日(木) ~ 8月31日(日)	夏季休業
	9月17日(水)	臨時休業
	9月18日(木) ~ 9月30日(火)	前期定期試験
	10月1日(水)	後期授業開始
	11月8日(土)	研究指導オリエンテーション
	11月10日(月) ~ 11月28日(金)	研究指導募集期間
	11月27日(木) ~ 12月8日(月)	履修科目の取消期間
	12月9日(火) ~ 56年1月18日(日)	冬季休業
昭和56年	1月31日(土)	卒業論文提出締切日
	2月2日(月)	学科課程所属オリエンテーション
	2月2日(月) ~ 2月10日(火)	学科課程所属募集期間
	2月12日(木)	臨時休業
	2月13日(金) ~ 2月28日(土)	後期定期試験
	3月18日(水)	卒業判定会議
	3月20日(金)	卒業式
	3月31日(火)	後期終了

# I 授業科目履修方法

## 1. 昭和55年度 開講科目

区分	授業科目	単位数	配当年次	担当教官	備考	
一般	哲学	4	I	渡辺教授		
	倫理学	4	II	渡辺教授		
	心理学	4	I	和田(完)教授		
	歴史学	4	II	栗生沢助教授	(前期)	
	日本文学	4	I	及川講師	北海道工業大学教養部教授	
	外国文学	ドイツ文学	4	I	中川教授	
		フランス文学	4	II, III	江口講師	
		ロシア文学	4	I	松本教授	
	社会科学系	社会科学概論	2	II	小竹講師	千葉商科大学教授 (集中講義)
		社会学	4	II	土肥講師	(後期) 本学短期大学部助教授
社会思想史		4	I	倉田助教授		
政治学		2	I	金原講師	中央大学教授 (集中講義)	
自然科学系		物理学	4	I	原田教授	
	化学	4	I	斉藤教授		
	生物学	4	I	山田(家)助教授		
外国	英語	I	4	I	備考参照	
		II	4	II		
		III	2	III		
	英語以外	ドイツ語	I	4	I	中大川塚教授 加納和義 筑藤和義 佐藤和義 石川和義 ライナー・プレッシュ
			II	4	II	
	英語以外	フランス語	I	4	I	江口併任教授 目黒藤任教授 佐藤講師 デュボア講師 谷川講師
II			4	II		

語	の 外国語	中国語 { I 4 I } 阿部講師		
		スペイン語 { I 4 I } 寺崎助教授		
		ロシア語 { I 4 I } 松本教授		
保健体育科目	体育講義	2 II	森岡教授	
	体育実技 { I 2 I } 杉山教授	2 II	藤江教授 田野助教授 中川講師	
基礎教育科目	経済学概論			4 I
	商学概論	4 I	{ 鈴木教授 久野教授 } (前期) 昭和52年度以前入学者は「論理学」を「法学」と読み替える。	
	法学概論	4 I	{ 結城講師 神田教授 } (前期) (後期)	
	管理科学概論	4 I	{ 若林助教授 沼田教授 } (前期) (後期)	
	数学	4 I	{ 白川助教授 兼岩講師 }	
専門教育科目	経済学	統計学	4 II	久次教授
		数理統計学	4 III	久次教授 (後期)
		経済原論 I	4 II	{ 鶴沢助教授 藤井教授 } (前期) (後期) 昭和50年度以前入学者は「経済原論」と読み替える。
		経済変動論	4 III	増井(幸)教授
		経済学史	4 III	野沢助教授 北海道大学経済学部助教授 昭和50年度以前入学者は「経済学特殊問題」と読み替える。
		経済原論 II	4 II, III	唐渡講師
		計量経済学	4 III	遠藤助教授
		経済史概論	4 II	井上教授
		日本経済史	4 III	長谷川助教授
		経済政策	4 III	小平講師
科目	工業経済学	4 III, IV	吉武教授	
	社会政策	4 III	吉武教授	

専門教育科目	商業学	財政学	4 III, IV	早見教授			
		国際経済論	4 III	佐竹講師			
		貿易政策	4 III, IV	麻田教授			
		国際金融論	4 III, IV	足立教授			
		金融経済論	4 III, IV	釜江助教授			
		流通組織論	4 II	片桐講師		本学短期大学部教授	
		マーケティング	4 III, IV	佐々講師		(後期) 講師	
		商品学	4 III, IV	斉藤教授			
		国際マーケティング	4 III, IV	森田講師			
		商業英語	4 III, IV	北村講師		小樽女子短大教授	
商業学	商業学	証券市場論	4 III, IV	石原助教授	(前期)		
		証券金融論	4 III, IV	鈴木教授			
		経営学原理	4 II	篠崎助教授			
		経営学説史	2 III, IV	吉田講師	関西学院大学教授 (集中講義)		
		経営史	4 III, IV	辻原助教授	(前期)		
		経営管理論	4 II	中橋助教授			
		労務管理論	4 III, IV	林助教授	(後期)		
		財務管理論	4 III, IV	佐賀講師	(前期)		
		産業心理学	4 III, IV	和田(完)教授	本学短期大学部助教授		
		科目	簿記学	簿記学	4 II	{ 久野教授 福島講師 }	
簿記演習	4 III, IV			渡辺講師	本学短期大学部助教授		
会計学	4 III, IV			久野教授			
管理会計	4 III, IV			中助教授			
外国語特殊講義							
外国書講読	4 III, IV			{ 福島講師 小田講師 }	(後期) 本学短期大学部講師		
商業学	商業学			財産法 I	4 II	神田教授	
				財産法 II	4 III	飯塚助教授	
				会社法	4 III	石原講師	本学短期大学部助教授
				商取引法	4 III, IV	{ 青竹助教授 カルジャラ教授 }	(前期) (後期) フルブライト招聘教授
		憲法	4 II	結城講師			
		労働法	4 III	道幸助教授			

専 門	法学 コース 科目	環 境 法	4	Ⅲ,Ⅳ	飯塚助教授	(後期)	
		経 済 法	4	Ⅲ	和田(健)講師		
		経 済 刑 法	4	Ⅱ,Ⅲ	振津講師		
		国 際 法	4	Ⅱ	大谷教授		
		国 際 機 構 論	4	Ⅲ	丸山助教授		
		国 際 経 済 法	4	Ⅲ,Ⅳ	小原教授		
		国 際 取 引 法	2	Ⅲ,Ⅳ	カルジャラ教授		
	教 育 科 目	管 理 科 学 科 目	管理科学通論	6	Ⅱ	浅利講師	東海大学助教授
			管理科学Ⅰ	4	Ⅲ	若林助教授	(前期)
			管理科学Ⅱ	4	Ⅲ	樋口助教授	
管理科学特講Ⅱ			3	Ⅲ,Ⅳ	沼田教授		
事務機械化			6	Ⅱ	山田(一)教授		
情報処理			6	Ⅲ,Ⅳ	杉本講師		
応用数学(代数)			6	Ⅱ	沼田教授		
応用数学(解析)			6	Ⅱ	小林講師		
応用数学(統計Ⅱ)			6	Ⅲ	清水川助教授		
計算機論Ⅰ			6	Ⅱ	杉本講師 樋口助教授	(前期) (後期)	
計算機論Ⅱ	6	Ⅲ	戸島教授	専修大学北海道短期大学 教授			
研究指導		12	Ⅲ,Ⅳ	備考参照			
教 職 科 目	教育原理	4	Ⅲ	増井(三)講師	(後期)		
	商業科教育法	2	Ⅲ				
	英語科教育法	3	Ⅲ,Ⅳ	宮岡助教授			
	道德教育の研究	2	Ⅲ	浅井講師			
	教育実習	2	Ⅲ,Ⅳ	麻田教授 鈴木教授 中助教授 結城講師 戸島教授 増井(三)講師 君羅助教授		(前期) 北海道女子短大教授	
	教育史	4	Ⅱ	増井(三)講師			
	職業指導	4	Ⅲ	石井講師		(北海道教育大学教授)	
英語(上級Ⅲ)	4	Ⅱ~Ⅳ	下村講師				

英 語(上級Ⅳ)	4	Ⅱ~Ⅳ	豊国助教授
英 語 学 Ⅱ	4	Ⅲ,Ⅳ	武本教授
英 文 学 Ⅱ	4	Ⅱ~Ⅳ	永原教授
備 考			
★英語Ⅰ,Ⅱ,Ⅲの担当教官名			
武本教授,永原教授,君羅助教授,宮岡助教授,豊国助教授,下村講師,マイケル・カー,高嶋講師,(本学短期大学部助教授),岩城講師(札幌医科大学教授),高久講師(北海道大学文学部教授),片山講師(北海道大学文学部助教授),浪田講師(北海道大学文学部助教授),鈴木講師(小樽女子短期大学助教授),西村講師(札幌商科大学助教授),布施講師(札幌大学外国語学部助教授),小林講師(北海道武蔵女子短期大学教授),脇田講師(札幌商科大学教授),マリー・シェーファー講師			
★研究指導担当教官名			
(経済学科)麻田教授,足立教授,井上教授,長谷部教授,早見教授,久次教授,藤井教授,増井(幸)教授,吉武教授,遠藤助教授,釜江助教授,野沢助教授,長谷川助教授,鶴沢助教授,小平講師,佐竹講師			
(商業学科・商学コース)久野教授,鈴木教授,石原助教授,篠崎助教授,辻原助教授,中助教授,中橋助教授,福島講師,斉藤教授,和田教授			
(商業学科・経営法学コース)大谷教授,小原教授,神田教授,青竹助教授,道幸助教授,丸山助教授,結城講師			
(管理科学科)戸島教授,沼田教授,山田教授,清水川助教授,樋口助教授,若林助教授,杉本講師			

## 2. 履修方法

学生は4年間在学し、次の事項に示された単位を修得することによって卒業資格が与えられる。

- (1) 単位修得については、各入学年度および各自が所属している、または、所属しようとする学科・課程によって異なるので、十分注意すること。
- (2) 2-(1)は昭和54年度以降入学者、2-(2)は昭和53年度入学者、2-(3)は昭和46年度～昭和52年度入学者、2-(4)は昭和42年度～昭和45年度入学者が適用される。また、商業教員養成課程以外の学生で、教員免許資格を希望する者は、2-(5)及び2-(6)を参照のこと。
- (3) 文学の単位は昭和45年度以前入学者については日本文学・外国文学のうち、いずれか1科目だけが卒業所要単位に算入される。昭和46年度以降入学者については、日本文学のほか、外国文学のうちいずれか1科目が卒業所要単位に算入される。
- (4) 英語(I・II・III)は、1年次毎週4時間4単位、2年次毎週4時間4単位、3年次毎週2時間2単位、合計10単位が必修である。
- (5) 英語以外の外国語(ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語)は、いずれか1か国語を選択必修とし、1年次、2年次とも毎週4時間4単位ずつ計8単位を履修しなければならない。
- (6) 保健体育科目の実技2単位については、1年次毎週2時間2単位の $\frac{2}{3}$ 、2年次前期または後期に毎週2時間2単位の $\frac{1}{3}$ 、計2単位、講義については、2年次前期または後期に毎週2時間2単位がそれぞれ必修である。
- (7) 昭和50年度以前入学者は「経済原論I」を「経済原論」と、「経済原論II」を「経済学特殊問題」とそれぞれ読み替える。
- (8) 英語(上級III)、英語(上級IV)、英語学II、および英文学IIは高等学校教諭英語2級普通免許状取得のための授業科目であるが、卒業所要単位に算入されない科目として履修できる。
- (9) 2年次終了までに、卒業所要単位数に算入される。1、2年次の配当科目について55単位以上を修得していない場合は、(ア)3年次以降配当の専門科目の履修は認められない、(イ)研究指導に所属できない、(ウ)卒業が1年以上延期されることになっている。また、この単位を在学期間6年を経過しても修得できない場合は除籍になる。

この55単位の算入については下記のとおりなので、履修上注意すること。

### 記

一般教育科目	28単位まで算入
外国語科目	16単位 "
体育(実技、講義)	4単位 "
基礎教育科目	8単位 "
専門教育科目	2年次配当科目

ただし、専門教育科目については所属学科以外の科目について、28単位まで算入。また商業教員養成課程については専門科目の外に教職科目も算入する。

- (10) 研究指導は、毎週3時間、3年次から2か年継続授業で12単位(卒業論文を含む)である。なお、履修方法は、入学年度によって、違いがあるので注意すること。

昭和53年度以前入学者にあつては、所属する学科・コース・課程の区分を問わず各自の志望する研究指導を自由に履修することができる。

昭和54年度以降入学者にあつては、原則として、所属する学科・コースの研究指導を履修するものとする。商業教員養成課程に所属する学生は、学科・コースの区分を問わず、各自の志望する研究指導を履修することができる。

研究指導を履修しない学生(いわゆるノンゼミと称する学生)は研究指導分の12単位をそれぞれ所属する学科の専門教育科目の履修によって充足しなければならない。

また、商業教員養成課程に所属する学生にあつては、経済学科・商業学科(各コース)・管理科学科の専門教育科目によって充足しなければならない。

- (11) 商業教員養成課程以外の学科に所属する学生で高等学校2級普通免許状(商業・英語)の取得を希望する者は、第24表(商業)、第25表の(1)(英語)の単位をそれぞれ修得しなければならない。

また、昭和52年度から「中学校教諭英語科一級」の免許状が取得可能になり、希望する者は、第25表の(2)の単位を修得することによりこの免許状を取得できる。なお、管理科学科に所属する学生は当分の間この免許状は取得できない。

なお、これらの単位は卒業所要単位以外の単位である。

(12) 単位の互換制について

北海道大学経済学部で下記の授業科目を履修することが認められる。この場合の身分は北大の特別聴講学生となる。

(ア) 聴講出願対象者

学則に関する細則 1.科目履修細則第 4 条に規定する〔1, 2 年次配当科目55単位以上〕単位数を修得した55年 4 月現在の 4 年次生。

(イ) 聴講科目

聴講科目	単位	担当教官	開講時期
北海道経済史	4	林	後期
企業行動論	4	小林	前期
企業形態論	4	森	前期

① 「北海道経済史」は本学の経済学科の専門科目、「企業行動論」及び「企業形態論」は、本学の商業学科商学コースの専門科目として扱い、卒業単位数に算入する。

② 1 科目につき20名が限度。

(ウ) 聴講期間 昭和55年 4 月～昭和56年 3 月の 1 年間。

(エ) 聴講料 不要。

(13) 教職関係科目について

次のとおり開講するので、履修計画においては注意のこと。

科目名	昭和 55 年度	昭和 56 年度
教育原理	○	×
教育心理学	×	○
商業科教育法	○	×
英語科教育法	○	×
道德教育の研究	○	×
教育史	○	○
職業指導	○	○

○印=開講, ×印=非開講

2-(1) 昭和54年度以降入学者

イ 一般教育科目, 外国語科目, 保健体育科目および基礎教育科目の履修方法

第 1 表 経済学科・商業学科・管理科学科および商業教員養成課程

区分	単位数	備考
一般教育科目	人文科学系	4 以上 1 科目以上
	社会科学系	4 以上 1 科目以上
	自然科学系	4 以上 1 科目以上
	計	28 7 科目以上
外国語科目	18	{英語(I・II・III)必修 英語以外の外国語(5科目)のうちいずれか1科目
保健体育科目	4	体育講義, 体育実技
基礎教育科目	8	2 科目以上 {商業教員養成課程にあつては法学 概論(日本国憲法 2 単位を含む。)
合計	58	

(注) 一般教育科目(人文科学系)のうち, 外国文学の単位については, そのいずれか 1 科目のみを卒業所要単位数に算入する。

別表 一般教育科目および基礎教育科目

人文科学系	社会科学系	自然科学系	基礎教育科目
授業科目 単位数	授業科目 単位数	授業科目 単位数	授業科目 単位数
哲学 4	社会科学概論 4	物理学 4	経済学概論 4
倫理学 4	社会学 4	自然科学概論 4	商学概論 4
心理学 4	社会思想史 4	化学 4	法学概論 4
歴史学 4	教育学 4	生物学 4	(日本国憲法 2 単位を含む) 管理科学概論 4
日本文学 4	政治学 4		数学 4
英文学 4			
ドイツ文学 4			
フランス文学 4			
中国文学 4			
ロシア文学 4			
1 科目 4 単位以上	1 科目 4 単位以上	1 科目 4 単位以上	2 科目 8 単位以上
7 科目 28 単位以上			

(注) 昭和52年度以前入学者は「法学概論」を一般教育科目「法学」と読みかえる。



第2表 経済学科

区 分	単位数	内 容
経済学科科目	40	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 40単位のなかに統計学, 経済原論Ⅰ, 経済政策, 経済史概論, 国際経済論, 金融経済論のうちいずれか4科目を含める。
商業学科 商学コース科目 経営法学コース科目 管理科学科科目	24	1. 「研究指導」及び上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 24単位のなかに経営学原理, 会計学, 管理科学通論, 応用数学(代数), 財産法Ⅰ, 財産法Ⅱ, 会社法, 商取引法のうちいずれか2科目を含める。
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	
(注) 1. 研究指導を履修する者は, 原則として経済学科の研究指導を履修するものとする。 2. 研究指導を履修しない者は, 経済学科の科目について, さらに12単位を履修しなければならない。		

第3表 商業学科・商学コース

区 分	単位数	内 容
商業学科 商学コース科目	40	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 40単位のなかに流通組織論, 証券市場論, 経営学原理, 経営史, 経営管理論, 簿記学, 会計学, 原価計算のうちいずれか4科目を含める。
商業学科 経営 法学コース科目 経済学科科目 管理科学科科目	24	1. 「研究指導」及び上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 24単位のなかに統計学, 経済原論Ⅰ, 経済史概論, 経済政策, 国際経済論, 財産法Ⅰ, 財産法Ⅱ, 会社法, 商取引法, 国済経済法, 管理科学通論, 機械化会計のうちいずれか2科目を含める。
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	
(注) 1. 研究指導を履修する者は, 原則として商学コースの研究指導を履修するものとする。 2. 研究指導を履修しない者は, 商学コースの科目について, さらに12単位を履修しなければならない。		

第4表 商業学科・経営法学コース

区 分	単位数	内 容
商業学科 経営 法学コース科目	40	1. 「研究指導」を除いた科目 2. 40単位のなかに, 憲法, 財産法Ⅰ, 財産法Ⅱ, 会社法, 経済法, 経済刑法, 労働法, 国際法のうちいずれか4科目を含める。
商業学科 商学コース科目 経済学科科目 管理科学科科目	24	1. 「研究指導」及び上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 24単位のなかに流通組織論, 証券市場論, 経営学原理, 経営管理論, 労務管理論, 会計学, 経済原論Ⅰ, 経済史概論, 経済政策, 国際経済論のうち, いずれか2科目を含める。
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	
(注) 1. 研究指導を履修する者は, 原則として経営法学コースの研究指導を履修するものとする。 2. 研究指導を履修しない者は, 経営法学コースの科目についてさらに12単位を履修しなければならない。		

※ 昭和55年4月1日の学則変更により, 40単位のなかに「経済刑法」を追加したものである。

第5表 管理科学科

区 分	単位数	内 容
管理科学科科目	40	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 40単位のなかに管理科学通論, 管理科学Ⅰ, 管理科学Ⅱ, 管理科学Ⅲ, 機械化会計, 応用数学(代数), 応用数学(解析), 計算機論Ⅰのうちいずれか4科目を含める。
経済学科科目 商業学科 商学コース科目 経営法学コース科目	24	1. 「研究指導」及び上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 24単位のなかに統計学, 経済原論Ⅰ, 経営学原理, 会計学, 財産法Ⅰのうちいずれか1科目を含める。
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	
(注) 1. 研究指導を履修する者は, 原則として管理科学科の研究指導を履修するものとする。 2. 研究指導を履修しない者は, 管理科学科の科目について, さらに12単位を履修しなければならない。		

第6表 商業教員養成課程

区 分	単位表	内 容
専門教育科目 経済学科, 商業 学科 (商学コー ス, 経営法学コ ースを含む。), 管理科学科の全 科目。	44	1. 「研究指導」を除いた科目 2. 44単位のなかに経済原論Ⅰ, 統計学, 流 通組織論, 証券市場論, 経営学原理, 経営 管理論, 簿記学, 会計学, 計算機論Ⅰ, 事 務機械化, 財産法Ⅰ, 会社法のうちいづれ か6科目 (24単位) 以上を含める。
教 職 科 目	20	教育原理, 教育心理学, 商業科教育法, 教育 史, 教育実習, 職業指導を必修とする。
研 究 指 導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	

(注) 1. 商業教員養成課程に所属する学生は, 学科・コースの区分を  
問わず各自の志望する研究指導を履修することができる。  
2. 研究指導を履修しない者は, 経済学科, 商業学科 (商学コー  
ス, 経営法学コースを含む。), 管理科学科の各科目から, さ  
らに12単位を履修しなければならない。

2-(2) 昭和53年度入学生

4 一般教育科目, 外国語科目, 保健体育科目および基礎教育科目の履修  
方法

第7表 経済学科・商業学科・管理科学科および商業教員養成課程

区 分	単位数	備 考
一般 教育 科目	人文科学系	4以上 1科目以上
	社会科学系	4以上 1科目以上
	自然科学系	4以上 1科目以上
	計	28 7科目以上
外国語科目	18	{英語(I・II・III)必修 英語以外の外国語(5科目)のうちいずれか 1科目
保健体育科目	4	体育講義, 体育実技
基礎教育科目	8	2科目以上 {商業教員養成課程にあつては法学 概論(日本国憲法2単位を含む。)
合 計	58	

(注) 一般教育科目 (人文科学系) のうち, 外国文学の単位については,  
そのいずれか1科目のみを卒業所要単位に算入する。

別表 一般教育科目および基礎教育科目

人文科学系	社会科学系	自然科学系	基礎教育科目
授業科目 単位数	授業科目 単位数	授業科目 単位数	授業科目 単位数
哲 学 4	社会科学概論 4	物 理 学 4	経済学概論 4
倫 理 学 4	社 会 学 4	自然科学概論 4	商 学 概 論 4
心 理 学 4	社会思想史 4	化 学 4	法 学 概 論 4
歴 史 学 4	教 育 学 4	生 物 学 4	(日本国憲法 2単位を含む)
日本文学 4	政 治 学 4		管理科学概論 4
英 文 学 4			数 学 4
ドイツ文学 4			
フランス文学 4			
中国文学 4			
ロシア文学 4			
1科目4単位以上	1科目4単位以上	1科目4単位以上	2科目8単位以上
7科目28単位以上			

(注) 昭和52年度以前入学者は「法学概論」を一般教育科目「法学」と  
読み替える。

□ 専門教育科目の履修方法

第8表 経済学科

区分	単位数	内容
経済学科科目	36	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 36単位のなかに統計学, 経済原論Ⅰ, 経済政策, 経済史概論, 国際経済論, 金融経済論のうち, いずれか3科目を含める。
商業学科 商学コース科目	28	1. 「研究指導」および上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 28単位のなかに経営学原理, 会計学, 応用数学(代数), 応用数学(解析), 財産法Ⅰ, 財産法Ⅱ, 会社法, 商取引法のうちいずれか2科目を含める。
商業学科 経営 法学コース科目		
管理科学科科目		
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	
(注) 研究指導を履修しない者は, 経済学科の科目について, さらに12単位を履修しなければならない。 昭和50年度以前入学者は「経済原論Ⅰ」を「経済原論」と読み替える。		

第9表 商業学科 商学コース

区分	単位数	内容
商業学科 商学コース科目	36	「研究指導」を除いた科目。
商業学科 経営 法学コース科目	28	「研究指導」および上欄で選択した科目を除いた科目。
経済学科科目		
管理科学科科目		
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	
(注) 研究指導を履修しない者は, 商業学科商学コースの科目について, さらに12単位を履修しなければならない。		

第10表 商業学科 経営法学コース

区分	単位数	内容
商業学科 経営法学コース 科目	36	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 36単位のなかに憲法, 財産法Ⅰ, 財産法Ⅱ, 会社法, 経済法, 経済刑法, 労働法, 国際法のうち, いずれか4科目を含める。
商業学科 商学コース科目	28	1. 「研究指導」および上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 28単位のなかに流通組織論, 証券市場論, 経営学原理, 経営管理論, 労務管理論, 会計学, 経済原論Ⅰ, 経済史概論, 経済政策, 国際経済論のうち, いずれか2科目を含める。
経済学科科目		
管理科学科科目		
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	
(注) 研究指導を履修しない者は, 商業学科経営法学コースの科目について, さらに12単位を履修しなければならない。		

※ 昭和55年4月1日の学則変更により, 36単位のなかに「経済刑法」を追加したものである。

第11表 管理科学科

区分	単位数	内容
管理科学科科目	36	「研究指導」を除いた科目
経済学科科目	28	1. 「研究指導」および上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 28単位のなかに, 統計学, 経済原論Ⅰ, 経営学原理, 会計学のうちいずれか2科目を含める。
商業学科 商学コース科目		
商業学科 経営 法学コース科目		
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	
(注) 研究指導を履修しない者は, 管理科学科の科目について, さらに12単位を履修しなければならない。 昭和50年度以前入学者は「経済原論Ⅰ」を「経済原論」と読み替える。		

第12表 商業教員養成課程

区分	単位数	内容
専門教育科目 (経済学科, 商業学科, 管理科学科の全科目)	44	1. 「研究指導」を除いた科目 2. 44単位のなかに経済原論Ⅰ, 統計学, 流通組織論, 商品学, 証券市場論, 経営学原理, 簿記学, 会計学, 計算機論Ⅰ, 事務機械化, 財産法Ⅰ, 会社法のうちのいずれか6科目(24単位)以上を含める。
教科に関する専門科目	4	職業指導を必修とする。
教職科目	16	教育原理, 教育心理学, 商業科教育法, 教育史, 教育実習を必修とする。
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	
(注) 研究指導を履修しない者は, 経済学科, 商業学科, 管理科学科, の各科目から, さらに12単位を履修しなければならない。 昭和50年度以前入学者は「経済原論Ⅰ」を「経済原論」と読み替える。		

2-(3) 昭和46年度～昭和52年度入学者

イ 一般教育科目, 外国語科目, 保健体育科目および基礎教育科目の履修方法

第13表 経済学科・商業学科・管理科学科および商業教員養成課程

区分	単位数	備考
一般教育科目	人文科学系	4以上 1科目以上
	社会科学系	4以上 1科目以上
	自然科学系	4以上 1科目以上
	計	28 7科目以上
外国語科目	18	{英語(I・II・III)必修 英語以外の外国語(5科目)のうちいずれか1科目
保健体育科目	4	体育講義, 体育実技
基礎教育科目	8	2科目以上 商業教員養成課程にあっては法学概論(日本国憲法2単位を含む。)
合計	58	
(注) 一般教育科目(人文科学系)のうち, 外国文学の単位については, そのいずれか1科目のみを卒業所要単位に算入する。		

別表 一般教育科目および基礎教育科目

人文科学系	社会科学系	自然科学系	基礎教育科目
授業科目 単位数	授業科目 単位数	授業科目 単位数	授業科目 単位数
哲学 4	社会科学概論 4	物理学 4	経済学概論 4
倫理学 4	社会学 4	自然科学概論 4	商学概論 4
心理学 4	社会思想史 4	化学 4	法学概論 4
歴史学 4	教育学 4	生物学 4	(日本国憲法 2単位を含む)
日本文学 4	政治学 4		管理科学概論 4
英文学 4			数学 4
ドイツ文学 4			
フランス文学 4			
中国文学 4			
ロシア文学 4			
1科目4単位以上	1科目4単位以上	1科目4単位以上	2科目8単位以上
7科目28単位以上			
(注) 昭和52年度以前入学者は「法学概論」を一般教育科目「法学」と読み替える。			

第14表 経済学科

区分	単位数	内 容
経済学科科目	36	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 36単位のなかに統計学, 経済原論Ⅰ, 経済政策, 経済史概論, 国際経済論, 金融経済論のうち, いずれか3科目を含める。
商業学科科目	28	1. 「研究指導」および上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 28単位のなかに経営学原理, 会計学, 応用数学(代数), 応用数学(解析), 財産法Ⅰ, 財産法Ⅱ, 会社法, 商取引法のうちいずれか2科目を含める。
管理科学科科目		
法学関係科目		
研究指導		
計	76	
卒業所要単位	134	
(注) 研究指導を履修しない者は, 経済学科の科目について, さらに12単位を履修しなければならない。 昭和50年度以前入学者は「経済原論Ⅰ」を「経済原論」と読み替える。		

第15表 商業学科

区分	単位数	内 容
商業学科科目	36	「研究指導」を除いた科目。
経済学科科目	28	「研究指導」および上欄で選択した科目を除いた科目。
管理科学科科目		
法学関係科目		
研究指導		
計	76	
卒業所要単位	134	
(注) 研究指導を履修しない者は, 商業学科の科目について, さらに12単位を履修しなければならない。		

第16表 管理科学科

区分	単位数	内 容
管理科学科科目	36	「研究指導」を除いた科目
経済学科科目	28	1. 「研究指導」および上欄で選択した科目を除いた科目。 2. 28単位のなかに, 統計学, 経済原論Ⅰ, 経営学原理, 会計学のうちいずれか2科目を含める。
商業学科科目		
法学関係科目		
研究指導		
計	76	
卒業所要単位	134	
(注) 研究指導を履修しない者は, 管理科学科の科目について, さらに12単位を履修しなければならない。 昭和50年度以前入学者は「経済原論Ⅰ」を「経済原論」と読み替える。		

第17表 商業教員養成課程

区分	単位数	内 容
専門教育科目 (経済学科, 商業学科, 管理科学科, 法学関係の全科目)	44	1. 「研究指導」を除いた科目。 2. 44単位のなかに経済原論Ⅰ, 統計学, 流通組織論, 商品学, 証券市場論, 経営学原理, 簿記学, 会計学, 計算機論Ⅰ, 事務機械化, 財産法Ⅰ, 会社法のうちいずれか6科目(24単位)以上を含める。
教科に関する専門科目	4	職業指導を必修とする。
教職科目	16	教育原理, 教育心理学, 商業科教育法, 教育史, 教育実習を必修とする。
研究指導	12	
計	76	
卒業所要単位	134	
(注) 研究指導を履修しない者は, 経済学科, 商業学科, 管理科学科, 法学関係の各科目から, さらに12単位を履修しなければならない。 昭和50年度以前入学者は「経済原論Ⅰ」を「経済原論」と読み替える。		

2-(4) 昭和42年度～昭和45年度入学者

イ 一般教育科目, 外国語科目, 保健体育科目および基礎教育科目の履修方法

第18表 経済学科・商業学科および管理科学科

区分	単位数	必修科目	
一般教育科目	人文科学系	12	3科目以上
	社会科学系	8	2科目以上
	自然科学系	8	2科目以上
	計	28	7科目以上
外国語科目	18	{英語(I・II・III) 英語以外の外国語(5科目)のうち, いずれか1科目	
保健体育科目	4	実技, 講義	
基礎教育科目	16	経済学概論, 商学概論, 管理科学概論, 数学	
合計	66		
備考 1. 一般教育科目(人文科学系)のうち, 日本文学および外国文学の単位については, そのいずれか1科目のみを卒業所要単位に算入する。			

第19表 商業教員養成課程

区分	単位数	必修科目	
一般教育科目	人文科学系	12	3科目以上
	社会科学系	12	経済学概論, 法学(日本国憲法)を含め3科目以上
	自然科学系	12	数学を含め3科目以上
	計	36	9科目以上
外国語科目	18	{英語(I・II・III) 英語以外の外国語(5科目)のうち, いずれか1科目	
保健体育科目	4	実技, 講義	
基礎教育科目	8	商学概論, 管理科学概論	
合計	66		
(注) 一般教育科目(人文科学系)のうち, 日本文学および外国文学の単位については, そのいずれか1科目のみを卒業所要単位に算入する。			

別表 一般教育科目および基礎教育科目

人文科学系	社会科学系	自然科学系	基礎教育科目
授業科目 単位数	授業科目 単位数	授業科目 単位数	授業科目 単位数
哲学 4	社会科学概論 4	物理学 4	経済学概論 4
倫理学 4	社会学 4	自然科学概論 4	商学概論 4
心理学 4	社会思想史 4	化学 4	法学概論 4
歴史学 4	政治学 4	生物学 4	(日本国憲法) 2単位を含む
日本文学 4	教育学 4		管理科学概論 4
外国文学			数学 4
英文学 4			
ドイツ文学 4			
フランス文学 4			
中国文学 4			
ロシア文学 4			
3科目 12単位	2科目 8単位	2科目 8単位	全科目 必修
7科目 28単位			4科目 16単位
(注) 昭和52年度以前入学者は「経済概論」, 「法学概論」, 「数学」を一般教育科目「経済学概論」, 「法学」, 「数学」と読み替える。			

□ 専門教育科目の履修方法

第20表 経済学科

区分	内容	単位数
必修科目	統計学, 経済原論 I, 経済史概論 経営学原理, 会計学, 民法 I, 商 法 I	28
選 択 科 目	経済学科科目 (別表第1の(5)のイ) に掲げる授業科目	24
	商業学科科目 (別表第1の(5)のロ) に掲げる授業科目	16
	管理科学科科目 (別表第1の(5)のハ) に掲げる授業科目	
	法学関係科目 (別表第1の(5)のニ) に掲げる授業科目	
	研究指導	
計		80
卒業所要単位		146
備考 <ul style="list-style-type: none"> <li>研究指導を履修しない者は, 経済学科の科目について「研究指導」12単位に相当する単位を修得しなければならない。</li> <li>「経済原論 I」を「経済原論」と読み替える。</li> </ul>		

〔注〕第20・21・22表に記載されている別表第1とは学則第11条の別表第1を示す。

第21表 商業学科

区分	内容	単位数	
必修科目	マーケティング, 経済学原理, 労 務管理, 簿記学, 会計学, 統計学 経済原論 I, 民法 I, 商法 I	36	
選 択 科 目	商業学科科目 (別表等1の(5)のロ) に掲げる授業科目	20	
	経済学科科目 (別表第1の(5)のイ) に掲げる授業科目	12	
	管理科学科科目 (別表第1の(5)のハ) に掲げる授業科目		
	法学関係科目 (別表第1の(5)のニ) に掲げる授業科目		
	研究指導		12
	計		80
卒業所要単位		146	
備考 <ul style="list-style-type: none"> <li>研究指導を履修しない者は, 商業学科の科目について「研究指導」12単位に相当する単位を修得しなければならない。</li> <li>「経済原論 I」を「経済原論」と読み替える。</li> </ul>			

第22表 管理科学科

a 管理科学コース (昭和42年～44年度入学者)		
区分	内容	単位数
必修科目	研究指導, 統計学, 経済原論 I	20
選択科目	管理科学科科目 (別表第1の(5)のハ) に掲げる授業科目	36
	「研究指導」および上欄から選択した科目を除いた科目	8
	経済学科科目 (別表第1の(5)のイ) に掲げる授業科目	
	商業学科科目 (別表第1の(5)のロ) に掲げる授業科目	
	法学関係科目 (別表第1の(5)のニ) に掲げる授業科目	
	経済学科科目 (別表第1の(5)のイ) に掲げる授業科目	
計		80
卒業所要単位		146
備考		
1. 研究指導について「管理科学研究指導 I」または「管理科学研究指導 II」を履修しなければならない。 2. 「管理科学研究指導 I」の履修者は「管理科学 I」の、「管理科学研究指導 II」の履修は「管理科学 II」の単位を修得することができない。 3. 「経済原論 I」を「経済原論」と読み替える。		

b 管理科学コース (昭和45年度入学者)

区分	内容	単位数
選択必修科目	統計学, 経済原論 I, 経営学原理 会計学のうちから	8
選択科目	管理科学科科目 (別表第1の(5)のハ) に掲げる授業科目	36
	「研究指導」を除いた科目	24
	「研究指導」および上欄から選択した科目を除いた科目	
	経済学科科目 (別表第1の(5)のイ) に掲げる授業科目	
	商業学科科目 (別表第1の(5)のロ) に掲げる授業科目	
	法学関係科目 (別表第1の(5)のニ) に掲げる授業科目	
研究指導		12
計		80
卒業所要単位		146
備考		
1. 研究指導を履修しない者は、管理科学科の科目について「研究指導」12単位に相当する単位を修得しなければならない。 2. この表は昭和45年度入学者に適用する。 3. 「経済原論 I」を「経済原論」と読み替える。		



c 機械化会計コース (昭和42~44年度入学者)

区	分	内	容	単位数	
必	修	科	目	研究指導, 統計学, 経済原論 I, 簿記学, 会计学	28
選 択 科 目	管 理 学 科 科 目 (別表第1の(5)のハ) に掲げる授業科目)	機械化会計, 事務機械化, 情報処理, 計算機論 I, 計算機論 II, 管理科学特講 I, 管理科学特講 II, 管理科学特講 III, 管理科学特講 IV のうちから		24	
		「研究指導」および上欄から選択した科目を除いた科目		12	
		経 済 学 科 科 目 (別表第1の(5)のイ) に掲げる授業科目)	「必修科目」および「研究指導」を除いた科目		
		商 業 学 科 科 目 (別表第1の(5)のロ) に掲げる授業科目)	「必修科目」および「研究指導」を除いた科目		
		法 学 関 係 科 目 (別表第1の(5)のニ) に掲げる授業科目)	「研究指導」を除いた科目		
商 業 学 科 科 目 (別表第1の(5)のロ) に掲げる授業科目)	「必修科目」および「研究指導」を除いた科目	16			
計				80	
卒 業 所 要 単 位				146	
備 考					
1. 研究指導については、「機械化会計研究指導」を履修しなければならない。					
2. この表は昭和42年度生から適用する。					
3. 「経済原論 I」を「経済原論」と読み替える。					

d 機械化会計コース (昭和45年度入学者)

区	分	内	容	単位数	
必	修	科	目	統計学, 経済原論 I, 簿記学, 会计学	16
選 択 科 目	管 理 学 科 科 目 (別表第1の(5)のハ) に掲げる授業科目)	機械化会計, 事務機械化, 情報処理, 計算機論 I, 計算機論 II, 管理科学特講 I, 管理科学特講 II, 管理科学特講 III, 管理科学特講 IV のうちから		24	
		「研究指導」および上欄から選択した科目を除いた科目		28	
		経 済 学 科 科 目 (別表第1の(5)のイ) に掲げる授業科目)	「必修科目」および「研究指導」を除いた科目		
		商 業 学 科 科 目 (別表第1の(5)のロ) に掲げる授業科目)	「必修科目」および「研究指導」を除いた科目		
		法 学 関 係 科 目 (別表第1の(5)のニ) に掲げる授業科目)	「研究指導」を除いた科目		
研 究 指 導			12		
計				80	
卒 業 所 要 単 位				146	
備 考					
1. 研究指導を履修しない者は、管理科学科の科目について「研究指導」12単位に相当する単位を履修しなければならない。					
2. この表は昭和45年度入学者に適用する。					
3. 「経済原論 I」を「経済原論」と読み替える。					

第23表 商業教員養成課程

区 分	単位数	必 修 科 目
専 門 教 育 科 目 経済学科, 商業学科, 管理科学科, 法学関係 科目の全科目	48	統計学, 経済原論 I, 経営学原理 簿記学, 会計学, 民法 I, 商法 I
教科に関する専門科目	4	職業指導
教 職 科 目	16	教育原理, 教育心理学, 商業科教 育法, 教育史, 教育実習
研 究 指 導	12	
計	80	
卒 業 所 要 単 位	146	
備 考 1. 専門教育科目のうち必修科目以外の科目の履修は, 経済学科, 商業学科, 管理科学科, 法学関係科目の全科目から履修することが できる。 2. 研究指導については, 経済学科研究指導・商業学科研究指導・管 理科学研究指導 I・管理科学研究指導 II・機械化会計研究指導およ び法学関係研究指導のうちいずれかひとつを履修するものとする。 3. 研究指導を履修しない者は, 経済学科, 商業学科, 管理科学科お よび法学関係の科目について, 「研究指導」12単位に相当する単位 を修得しなければならない。 4. 「経済原論 I」を「経済原論」と読み替える。		

2-(5) 第24表 商業教員免許資格取得希望者の単位修得方法

区 分	単位数	必 修 科 目
基礎教育科目	4	法学概論 (日本国憲法 2 単位を含む)
教職に関する 専 門 科 目	16	教育原理 4 単位, 教育心理学 4 単位, 商業科 教育法 2 単位, 教育実習 2 単位, 教育史 4 単位
教科に関する 専 門 科 目	4	職業指導
合 計	24	
備 考 1. この表は商業教員養成課程以外の学科に所属する学生に適用する もので, それぞれの学科の卒業所要単位のほかに上記の単位数を修 得しなければならない。 なお, 卒業所要単位のなかには商業の関係科目 (16単位) を次の 科目のなかから修得しなければならない。 統計学, 経済原論 I, 流通組織論, 商品学, 証券市場論, 経営学原 理, 企業形態論, 簿記学, 会計学, 事務機械化, 計算機論 I, 財産 法 I, 会社法 2. 昭和52年度以前入学者は「法学概論」を一般教育科目「法学」と 読み替える。 3. 昭和53年度以前入学者は, 「流通組織論」を「マーケティング」に, 「財 産法 I」を「民法 I」に, 「会社法」を「商法 I」と読み替える。		

2-(6) 第25表 英語科教員免許資格取得希望者の単位修得方法

(1) 高等学校教諭の場合

区 分	単位数	必 修 科 目	選 択 科 目
基礎教育科目	4	法学概論 (日本国憲法 2 単 位を含む)	
教科に関する 専 門 科 目	32	英語学 I } 英語学 II } 16単位 英文学 I } 英文学 II }	商業英語 英語(上級 I) } " (上級 II) } 16単位 " (上級 III) } " (上級 IV) }
教職に関する 専 門 科 目	17	教育原理 4 単位, 教育心理 学 4 単位, 英語科教育法 3 単位, 教育実習 2 単位, 教 育史 4 単位	
合 計	53		
備 考 1. それぞれ所属する学科の卒業所要単位のほかに上記単位数を修得 しなければならない。ただし, 商業教員養成課程の学生は, 教科に 関する専門科目の単位数と, 教職に関する専門科目のうち英語科教 育法を修得すればよい。 2. 教職に関する専門科目のうち「教育原理」「教育心理学」「教育 実習」「教育史」は, 24表, 25表両方の場合に併合できる。 3. 昭和52年度以前入学者は「法学概論」を「法学」と読み替える。			

## (2) 中学校教諭の場合

上記(1)の「教職に関する専門科目」のほか、さらに「道德教育の研究」2単位を修得すれば、管理科学科所属の学生を除いて中学校教諭英語科一級普通免許状をも取得できる。

## 3. 科目試験の受験について

定期試験（前期，後期）およびこれに準ずる試験を受験する場合，次の注意事項を厳守して，不利益をうけることのないよう十分留意してください。

### ★受験に際しての注意事項

1. 指定された席に着席すること。（指定の席は，履修届により決定され，また試験開始5分前には着席していること。）
2. 身分証明書の携帯がなければ受験できない。（座席の右前方におくこと）
3. 試験時刻におくれた者は原則として受験できない。ただし，20分以内の遅刻者は，事情により監督者の許可を受けて受験できる場合もある。
4. 試験開始20分以内は退場できない。
5. 試験終了10分前以後は退場できない。
6. 教科書，参考書，ノートなどの不要の所持品は鞆等に納め，これらをむき出しのまま机の中に入れてはいけないこと。
7. 教科書，参考書，ノートなどの参照を許された試験においては，それらの貸借をしてはならない。受験生の間で，貸借のあった場合は，それを不正行為とみなす。
8. 試験において，私語，その他不正行為の疑惑を招くような行為のないよう特に留意すること。
9. 試験中の不正行為については，学則に照して処分されるから厳正な態度で受験すること。
10. 配布された答案用紙は必ず提出し，これを持ち帰ってはならない。
11. その他試験場内において監督者の指示に従わない場合は退場させられる。

## Ⅱ 教授要目

### 1 一般教育科目

#### 哲 学

教授 渡辺 祐 邦

古代ギリシャの自然哲学から，現代哲学にいたる主要な哲学思想について毎年テーマを変えてお話しします。今年は昨年度にひきつづき，ヘーゲルの弁証法的論理学についてお話ししますが，単にパッシブに知識をうけとり，暗記するのではなく，アクティブに思考する習慣を養うために，テキストを読みながら討論すると云う方法をとります。このため受講者は，あらかじめ指定されたテキストの部分について，充分考えて教官の質問に答えなければならず，毎週レポートの提出を要求されます。講義のほかに，文献研究を主とするグループを設けますが，その詳細は最初の時間に説明します。どちらに参加しても良く，途中で変更することも自由です。

#### 講義用テキスト：

ヘーゲル「小論理学」上，下，松村一人訳，岩波文庫  
(文献研究のテキストは，のちほど本人に直接さしあげます)

#### 倫 理 学

教授 渡辺 祐 邦

「共同存在」としての人間の存在論的構造に関するヨーロッパ倫理学の古典的著作を読みながら，現代における生と実存の意味について考察します。今年度は，昨年度にひきつづきアリストテレスの『政治学』をテキストとして取り上げますが，邦訳とともにギリシャ語の原文を併用するので，ギリシャ語文法に関する簡単な学習を当初に行います。

#### テキスト：

アリストテレス『政治学』，山本光雄訳，岩波文庫  
田中美知太郎・松平千秋『ギリシャ語入門』 岩波全書

#### 参考書：

アリストテレス『形而上学』上・下（岩波文庫），同『ニコマコス倫理学』上・下（岩波文庫）など。  
ギリシャ語の辞書は特に必要ないが，もし参照したいならば次のものが比

較的入手しやすい。Liddell and Scott, *Intermediate Greek Lexicon*  
(Oxford U.P.)

## 心理学

教授 和田 完

心理学の基本的性格を平易に解説し、基礎的法則や概念を理解してもらうことを目標に授業を進める。まず、行動科学としての成立を史的地に立って説明し、動機づけ、学習、知覚、人格などの話題を提供するだろう。また心理学に関する映画が教材として利用される。

テキスト：和田、馬場著「人間」明玄書房

## 歴史学

助教授 栗生沢 猛 夫

東欧地域を素材としてとりあげ、その歴史を概観しながら歴史(学)とは何かについて考えて行きたいと思えます。東欧地域の歴史は従来看過されがちでしたが、近年わが国でもその研究は急速に進みつつあります。講義ではそれらの業績に依拠しながら、東欧をも含めた歴史的個体としてのヨーロッパ像をさぐることを具体的な課題とします。テキストは指定せず、講義の進行とともに参考文献を紹介します。

## 日本文学

非常勤講師 及川 敬一  
(北海道工業大学教養部教授)

## ドイツ文学

教授 中川 勇 治

まずドイツ文学へのアプローチとして、文学とは何か、ドイツ的なものとは何かという問題を考えてみます。つづいて、ドイツ文学の歴史的な流れを概観しながら、その代表的な作家や作品を紹介します。受講者はかならずしもドイツ語の知識を必要としませんが、翻訳を通してでも作品そのものを読まれるよう希望いたします。

参考書 手塚富雄『ドイツ文学案内』(岩波文庫)

## フランス文学

講師 江口 修

ボードレールの『悪い華』をいっしょに読んで行きます。したがってフランス語のできる者に限ります。

用書：阿部良雄・佐藤東洋磨編『ボードレールによるエチュード』(朝日出版) ¥720, Charles BAUDELAIRE: *Les Fleurs du mal*  
(Coll. Le Livre de Poche, Hachette) 価格未定

## ロシア文学

教授 松本 忠 司

講義は大きく二つの部門にわけて行なう。

(I) 第一の部門は、ロシア文学の成立と展開をめぐる諸問題を取り扱う。

(1)インテリゲンツィヤの成立とその背景 (2)批判的リアリズムの成立とその発展 (3)農奴解放期の文学(ツルゲーネフ、トルストイ、ドストエーフスキイの文学を中心に) (4)世紀末の文学(チェーホフを中心に)

(II) 第二の部門は、ゴーリキイと19世紀末ないし20世紀初頭のロシア文学の問題を取り上げ、マクシム・ゴーリキイの生涯と文学創作を中心的に検討しながら、文学と人間・時代・社会のかかわり合いを考究していく。

受講者に対しては、ロシア語の知識は要求しないが、指定された文学作品・文献を読むこと、および課題によるレポートの提出を求める。参考文献については随時、講義のなかで示すが、さしあたり(I)部門の(1)文学史的流れについては、金子幸彦著「ロシア文学案内」(岩波書店)、作家各論としては、草鹿・松本他共著「ロシア文学の世界」(文化書房博文社)、(II)については松本忠司著「ゴーリキイ研究(1)作家への道」(理想社刊、ただし絶版に付き担当者に連絡のこと)、同編訳「ゴーリキイ文芸書簡」〔全2巻〕(光和堂)、ビャーリク著山村房次訳「ゴーリキイの運命」〔上・下〕(新日本出版社)をあげておく。

## 社会科学概論

非常勤講師 小竹 豊 治  
(千葉商科大学教授)

今日の日本経済は尨大な公債発行とその累積に悩まされ、物価騰貴と円価の低落を押さえるために、金利を上げると公債の暴落に見舞われている。こ

の公債は、株式とともに擬制資本といわれている。それは資本でないものが資本に擬制されるので、そのように称されている。筆者はこの擬制資本について、順を追って講述しようと思う。

擬制資本について、最も有益な見解を述べているのは、カール・マルクスである。だが資本論を翻訳で読むと、分らない文章にぶつかる。まず一例としてこれを紹介すると以下のようである。

(A) 青木文庫版(11) 678頁。「国家証券ならびに株式その他のあらゆる種類の有価証券は、貸付可能資本にとっての、すなわち利子生み資本たるべく予定された資本にとっての、投下部面である。これらの有価証券は、かかる資本を貸出すための形態である。だがこれらの有価証券そのものは、かかる形態で投下される貸付資本ではない。

(B) 岩波版第3巻第2部 600頁。「前略……しかし、それら自体が、それらの形態で投下される貸付資本なのではない。

(C) マルクス=エンゲルス全集版第25巻第2分冊 612頁。「前略……しかし、それら自身が、それらの形態で投下される貸付資本なのではない。

筆者の傍線を引いた部分は、日本語としては文意不明確である。否定文を肯定文に直すと、形容詞または形容句が否定される。たとえば、「あの人は心の美しい人ではない」という文章は、「あの人は心の美しくない人である」となる。前記の翻訳を肯定文に直すと次の通りである。

(I) 「…これらの有価証券は、かかる資本を貸出すための形態である。だからこれらの有価証券そのものは、かかる形態で投下されない貸付資本である。

(II) 「…これらの有価証券は、この資本を貸出す形態である。しかし、それら自身が、それらの形態で投下されない貸付資本である。

(III) 「…これらの有価証券は、この資本を貸し出す形態である。しかしそれら自身が、それらの形態で投下されない貸付資本である。

これではますます文意不明確になる。原文は次のようである。

Staatseffekten wie Aktien und andere Wertpapiere aller Art sind Anlagesphären für Verleihbares Kapital, für Kapital, das bestimmt ist, zinstragend zu werden. Sie sind Formen, es auszuleihen. Aber sie sind nicht selbst das leih kapital, das in ihnen angelegt wird.

この傍線部分の英訳は、They are forms of loaning such capital. But

they themselves are not the loan capital, which is invested in them.

これで知るように、独文の「, das」は、英文では「, Which」としてある。この文章は、ワン・センテンスであっても、2箇のセンテンスとして訳するのが正しい。dasは何を受けているか、Whichは何けているかを考えて、そうでなかったらマルクスが、主客語を転倒させて、「証券そのものは貸付資本ではない。貸付資本が証券に投下されるのである」とリズムカルに明確に述べて強調している文意の理解を妨げることになる。邦訳は、いずれも適訳でないのみならず、むしろ誤訳といった方がよい。

## 社 会 学

非常勤講師 土肥 恒之  
(小樽商科大学短期大学部助教授)

近代化と村落共同体の解体。

前半は、ヨーロッパ諸国について、この問題を概観し、後半にはロシアの近代化過程に即して、できるだけ具体的に検討する予定です。

※参考文献は、その都度指示します。

## 社 会 思 想 史

助教授 倉 田 稔

本年度の授業は、時間割の割当て次第によって、方法の変更がありうる。大人数の聴講生のクラスが2つできた場合と、大人数クラス1つと小人数クラス1つという場合がある。大人数クラスに対しては以下の方法で行なう。まず夏休み前までは、小生の講義をおこなう。今年、ギリシャ時代からはじめて、時間があるかぎり進む。夏休み以降は、学生諸君の自主研究を中心にすすめる。授業の方法は、毎年ガラリと変っている。小人数クラスに対しては、ゼミナール形式ですすめる。ただし輪読会は行なわない予定である。

テキストは使用しない。ただし補助教材として『社会経済思想史文献(1)』を用いる。

## 政 治 学

非常勤講師 金 原 左 門  
(中央大学教授)

講義の全体の狙いは、現代における政治学の課題をひろいあげながら、とくに現代民主主義にまつわる諸問題を検討することにおきたい。講義の組み立ては、次のようにしておく。

- 1 政治学とはなにか
- 2 政治学の基礎概念 (1)権力と権力関係 (2)国家 (3)階級・民族  
(4)支配と秩序 (5)体制
- 3 政治体系の理論
- 4 政治的民主主義の原理
- 5 現代と参加民主主義
- 6 平和と開発・近代化と軍事化の諸問題

講義を密度の濃いものにするため、テキストとして田口・佐々木・加茂著『政治の科学』改訂新版(青木書店)をもちいる。ただし、この本は講義を進めるうえでの手がかりにするだけであって、全面的に活用するわけではない。とくに、このことを断っておきたい。

### 物 理 学 教授 原 田 稔

現代物理学の大きな基礎の一つである量子論についての初等的な解説をジョージ・ガモフ著「現代の物理学—量子論物語」(河出書房新社)にそって行う予定。

### 化 学 教授 斎 藤 要

化学は一つの教育体系をもった学問であるが、一般教育課程での化学は、その体系を希釈したり、あるいは一部を拡大したものである。本年度は物質の化学的基本粒子である原子・分子を認識してゆく唯物論的思考の歴史的歩みと方法論を述べ、さらに応用部門として放射能化学から原子力の利用と、その発展がもたらす諸問題について述べる予定である。

なお、テキストは使用しないが、参考書は必要に応じて紹介する。さらにおりをもて実験も行なう。

### 生 物 学 助教授 山 田 家 正

系統分類学、進化学の立場から生物学的諸問題について考察する。特に、生命誕生以来、生物集団の基本単位である“種”を通じて続いてきた“生命”のあり方の多様性を中心に話を進めたい。教科書は使用しない。又、秋(9月頃)には忍路湾で臨海実習(ウニの発生)を予定している。

## 2 外国語科目

### 英 語

#### (A) 英語履修方法

- (1) 英語の授業は、教室内における2時間の講義に対し、教室外における1時間の学習を必要とするものとし、毎週2時間通年30週の講義をもって2単位とする。(学則第12条の2参照)
- (2) 英語(I・II・III)は1年次毎週4時間4単位、2年次毎週4時間4単位、3年次毎週2時間2単位、合計10単位が必修となる。(学則第10条および第11条別表第1の(2)参照)
- (3) 昭和55年度の英語クラス配置および教科の種別は別表の通りである。
- (4) 別表のうち、Eではじまる3ケタの数字はクラス別をあらわす記号である。3ケタ目の1, 2, 3は履修基準年次で、2ケタ目は教科の種別を示している。0は文学作品の講読。1は評論, 伝記, 語学書等の文学作品以外の講読で、2は会話作文等、3は文法である。1ケタ目の1, 2, 3……はクラス別を示す。
- (5) 基準年次に配当されているクラスの選択は自由である。しかし、英語Iは別表A群より2単位、B群より2単位、合計4単位を選択履修し、英語IIは講読2単位と他のクラスの講読か会話, 作文等のうちいずれか2単位合計4単位、英語IIIは講読2単位を選択履修すること。
- (6) 履修する学生は教授要目をよく読み、最初の授業に出席した上で自主的にクラスを選択すること。
- (7) 履修登録の手続きは、希望するクラス名をカードに書き込み、学生課の窓口へ提出すること。詳細について別途指示する(学生課の掲示に注意)。なお、当然のことながら、学生部長へ提出する「履修届」には、この登録の結果を記入すること。

(B) 別表 (昭和55年度英語クラス)

英語 I - A 群			英語 II			英語 III						
講 読 及 び 文 法	文 学 作 品	E101 永原 E102 豊国 E103 豊国 E104 君羅 E105 君羅	講 学 作 品	E201 永原 E202 豊国 E203 君羅 E204 君羅 E205 高久 E206 片山 E207 片山 E208 西村 E209 西村	講 学 作 品	E301 永原 E302 豊国 E303 君羅 E304 高久 E305 脇田	評 論 ・ 伝 記 ・ 語 学 書 等	E111 武本 E112 宮岡 E113 下村 E114 下村 E115 高嶋	評 論 ・ 伝 記 ・ 語 学 書 等	E211 宮岡 E212 下村 E213 小林 E214 小林 E215 浪田 E216 鈴木 E217 鈴木 E218 布施	E311 武本 E312 宮岡 E313 下村 E314 浪田 E315 Carr	
		英語 I - B 群										
講 読	文 学 ・ 評 論	E106 脇田 E107 布施 E116 岩城	評 論 ・ 伝 記 ・ 語 学 書 等	E221 Carr E222 Carr E223 Schaefer	評 論 ・ 伝 記 ・ 語 学 書 等		評 論 ・ 伝 記 ・ 語 学 書 等		評 論 ・ 伝 記 ・ 語 学 書 等		評 論 ・ 伝 記 ・ 語 学 書 等	
		会 話 ・ 作 文		E121 Carr E122 Carr E123 Carr E124 Carr E125 Schaefer E126 Schaefer		会 話 ・ 作 文						
文 法		E131 武本										

## 英語 I

〔英語共通試験実施要領〕

英語 I - A 群クラスの履修と単位認定について

- 英語 I は A 群より 2 単位, B 群より 2 単位合計 4 単位を選択履修すること。
- 英語 I - A 群の履修者には課外テキストを指定し, 年 2 回共通試験を行なう。
- 共通試験は, 前期及び後期の各定期試験期間中に行なう。前期及び後期の共通試験は両方とも受験しなければならない。
- 英語 I - A 群の各クラスの単位は, クラスの成績と共通試験の成績とにより, クラス担当教官が認定する。
- 課外テキスト  
小川芳男・上野伊栄太『高等英文法』 有精堂  
※昭和50, 51, 52, 53, 54年度生のうち, 英語 I の単位未得者の履修方法は55年度生の履修方法に準ずる。但し, I - A 群のクラスにかえて E131 を選択してよい。

## A 群

- E101 教授 永原 和 夫  
西村満男編 *American Accent: Selected Short Stories*. 南雲堂
- E102 } 助教授 豊国 孝  
◦ E103 }
- Herbert Ernest Bates: *The Wedding Party & Other Stories*  
金星堂 ¥680
- E104 } 助教授 君羅 久 則  
◦ E105 }
- Muriel Spark: *The Portobello Road and Other Stories*. 朝日出版 ¥600
- Muriel Spark: *Voices at Play*. 松柏社 ¥600
- E111 教授 武本 昌 三  
(1) Richard Goodman: *Oh! World!* 金星堂 ¥850  
(2) Edwin O. Reischauer: *The Japanese* 成美堂 ¥750

助教授 宮岡伯人

Stuart Chase: *How Language Shapes Our Thoughts*. (プリント)

B. L. Whorf: *Language, Thought, and Reality*. 研究社

◦ E113 }  
◦ E114 }

講師 下村五三夫

Erich Fromm: *The Crisis of Psychoanalysis*. Fawcett Crest.

◦ E115

非常勤講師 高嶋稔  
(小樽商科大学短期大学助教授)

V. E. Jonson: *Features of Modern English*.

P. Milward: *The Mystery of Words*.

J. Seward: *Words across the Pacific*.

M. Pei: *What's in Word?*

英文を読んで、その内容を正確に理解できる能力を身につけることと、英語はどのような言語か、という問いに解答を得ようとするのがこのクラスの目的である。

このE115のクラスでは「大学での英語は学生自身が学習するのであって教師から習うのではない」という考え方を採る。従って、学生が教室に出席する前に、必ずテキストを精読し、英文の理解や内容についての疑問点と問題点をまとめてクラスに提出して、出席者全員で討論しながらその解答を得ることになる。

時間が限られているので、教室では英語を日本語におきかえる、いわゆる逐語訳はしない。学生の自主的、積極的な勉強を前提としてクラスでの学習をすすめる。テキストの内容その他については、最初の時間に詳細に話すので、履修希望者は必ず出席されたい。

### B 群

◦ E106

非常勤講師 脇田勇  
(札幌商科大学教授)

James Hilton: *Good-Bye, Mr. Chips*. 研究社 ¥680

◦ E107

非常勤講師 布施英憲  
(札幌大学助教授)

(1) Ambrose Bierce: *In the Midst of Life*. 研究社 ¥660

(2) 佐藤旭編: *Workbook on Rhythm and Intonation*. 松柏社 ¥600

(3) 山口俊治著: *Aural Comprehension Tests*. 語学春秋社 ¥800

テキストは(1)です。A. Bierceの短編小説 *A Watcher by the Dead* をゆっくり、丁寧に精読し、Richard Pyatt氏吹込みの文芸テープも使用します。

又「聴解力」の養成につとめ、上記(2)、(3)の参考書を自学自習してもらい、毎週授業のはじめに「聞き取り」のテストをします。それからJACETと語学教育振興会の「第10回英語聴解力標準テスト」を全員に受験してもらいます。

◦ E116

非常勤講師 岩城禮三  
(札幌医科大学教授)

Herbert Passin: *Japanese and the Japanese*. 金星堂 ¥790

上記のテキストを精読用として前期で終了する予定。後期のテキストについては後日発表する。なお、faster readingの訓練も行なう。授業はlistening Practiceとoral practiceも重視してすすめるので、クラスワークへの積極的参加が必要である。遅刻のない出席が前提となる。

◦ E121

◦ E122

◦ E123

◦ E124

外国人教師 Michael Carr

*The New Intensive Course in English, Elementary Part 1*

*The New Intensive Course in English, Elementary Part 2*

This class will emphasize spoken English. Grades will be determined by class participation, therefore weekly attendance in both the classroom and the language laboratory is required.



◦ E125 }  
◦ E126 }

非常勤講師 Marrie Schaefer  
(札幌大学講師)

*Modern English an Oral Approach*, Revised Edition, Books 6 and 7 and Charts and Pictures. Seido Language Institute.

These are classes in spoken English. Classroom work will emphasize active participation in oral drill and conversation. Therefore weekly class participation is important and attendance is required. More than 5 absences will result in failure. Students are also required to attend the Language Laboratory to listen to each week's lesson. Lessons from the textbook must be memorized so that correct responses can be given without the text. Nomid-year or final examination will be given. Grades will be determined by class participation, occasional classtime quizzes and Language Laboratory tests.

## 文法

◦ E131

教授 武本昌三

- (1) 細江逸記『新要約英文法』 篠崎書林
- (2) Mildred H. Larson: *Stories by O. Henry*. Prentice-Hall International, Inc. (文理)

平易な英文を読みながら、英文構成の原理や法則を理解していくようにしたい。年二回の英語共通テストを単位取得の必要条件とはしないが、出席は重視し、欠席日数が三分の一を越える者については例外なく単位は認めない。

※昭和55年度生はこのクラスを履修することはできない。

## 英語 II

◦ E201

教授 永原和夫

Carson McCullers, *The Heart is a Lonely Hunter*. Penguin Books.

◦ E202

助教授 豊国孝

Herbert Ernest Bates: *The Golden Oriole & Other Stories*. 英宝社 ¥720

◦ E203 }  
◦ E204 }

助教授 君羅久則

Tennessee Williams: *A Streetcar Named Desire*. 金星堂 ¥980

◦ E205

非常勤講師 高久真一  
(北海道大学文学部教授)

大山俊子編注: *The Merchant of Venice*. 篠崎書林

シェイクスピアの劇の中でも比較的容易な『ヴェニスの商人』を原典で読む。テープによって美しい台詞の読み方を学び、その上で文章の解読と文学的鑑賞とを進めて行く。一般に知られている物語りとしてのこの作品と原典との違いにも注目して行きたい。

◦ E206

非常勤講師 片山厚  
(北海道大学文学部教授)

Bernard Malamud, *Man in the Drawer*. 英宝社 ¥760

ちなみに、B. Malamud は、現代アメリカの小説家である。

◦ E207

非常勤講師 片山厚  
(北海道大学文学部教授)

Nathaniel Hawthorne, *Rappaccini's Daughter*. 研究社 ¥570

ちなみに、N. Hawthorne は、19世紀アメリカの小説家である。

◦ E208

非常勤講師 西村頼男  
(札幌商科大学助教授)

(1) Ray Bradbury: *The Fog Horn and Other Stories*. 金星堂 ¥720

(2) Muriel Spark: *The Very Fine Clock and Other Illustrated Stories*. 鶴見書店 ¥880

◦ E209

非常勤講師 西村 頼 男  
(札幌商科大学助教授)

(1) William Faulkner: *New Orleans Sketches*. 北星堂 ¥600

(2) William Faulkner: *A Rose for Emliy and Wash*.  
大阪教育図書 ¥450

◦ E211

助教授 宮岡 伯 人

Edward Sapir: *Language*. (プリント)

Edward Sapir: *The History and Varieties of Human Speech*.  
(プリント)

◦ E212

講 師 下 村 五三夫

Erich Fromm: *The Anatomy of Human Destructiveness*. Fawcett  
Crest.

このクラスではテキストの第3部(209ページ)「攻撃と破壊性の多様性と  
その条件」から講読します。

◦ E213

非常勤講師 小林 謙 一  
(北海道武蔵女子短期大学教授)

Herbert Passin: *Language and Cultural Patterns*. 金星堂 ¥850

国際化時代といわれる今日、地球はまったく小さくなってきている。しか  
し、国際間の理解は、いぜんとして容易なことではない。世界中の人びとは  
それぞれに異なった文化に属し、その文化固有の行動と思考様式をもってい  
る。それだけに、異種文化間のコミュニケーションにも、思いがけない落し  
穴がひそんでいて誤解が生じ、悲劇となってしまうこともある。本書は日本  
人の国民性と精神構造を文化人類学と社会言語学の見地より観察しようと  
したものであり、その手段として、日本語と英語の表現に織り込まれた文化様  
式を対比し、身振り言語の差異を観察するほか、日本人と欧米人との価値観  
の違いも追求している。これによって、「ふるしき文化」と呼ばれる日本の  
雑種文化と、それを支える飽くことなき好奇心と摂取同化の精神構造が明ら  
かにされている。

演習科目であるので、①出席を重要視する。②期末テストは原則として行  
なわない。③日常の授業時の平常点と、毎月行なう小テストにより評点、評  
価する。

◦ E214

非常勤講師 小林 謙 一  
(北海道武蔵女子短期大学教授)

David Kung: *An American Window* 金星堂 ¥880

ニューヨーク—アメリカの顔として、富と権力の中枢をになう巨大都市  
である。林立する高層ビルの威容、そして五番街の華やかな町並。……  
しかしこのめくるめく高度な繁栄の背後に刻まれた歴史のひと駒に目を向け  
る者は少ない。「都市を形成するものはその都市に生き、呼吸する民衆には  
かならない。」—こう確信する著者は、ニューヨークの歴史と現在の諸相  
を、そこに息づく人間の営みとからませつつ生き生きと描き出している。苦  
難の移民史を縦糸にして、また現今のニューヨーク市民の生活を横糸にして  
織り上げられたこの著作はニューヨーク市に捧げられた鎮魂曲(レクイエム)  
であると同時に現代に寄せられた高らかな人間讃歌であるともいえる。

演習科目であるので、①出席を重要視する。②期末テストは原則として行  
なわない。③日常の授業時の平常点と、毎月行なう小テストにより評点・評  
価する。

◦ E215

非常勤講師 浪田 克之介  
(北海道大学文学部助教授)

Bernard Leach: *Beyond East and West*. (桐原書店) を講読する。

◦ E216 }  
◦ E217 }

非常勤講師 鈴木 良 克  
(小樽女子短期大学助教授)

E. T. Hall: *The Language of Time and Space*. 南雲堂 ¥680

◦ E218

非常勤講師 布施 英 憲  
(札幌大学助教授)

(1) Mario Pei: *All About Language*. 成美堂 ¥730

(2) 佐藤旭編: *Workbook on Rhythm and Intonation*. 松柏社 ¥600

(3) 山口俊治著: *Aural Comprehension Tests*. 語学春秋社 ¥800

テキストは(1)です。M. Pei の *All About Language* をゆっくり、丁寧に講読します。又「聴解力」の養成につとめ、上記(2), (3)の参考書を自学自習してもらい、毎週授業のはじめに「聞取り」のテストをします。それから、JACETと語学教育振興会の「第10回英語聴解力標準テスト」を全員に受験してもらいます。

◦ E221 } 外国人教師 Michael Carr  
◦ E222 }

Robert Lado, *Lado English Series*. Book 3

Robert Lado, *Lado English Series*. Book 4

This class will emphasize spoken English. In the classroom, work will be done in oral drill and discussion. And in addition, students will practice in the language laboratory. Attendance in both the classroom and the language laboratory is required.

◦ E223 非常勤講師 Marrie Schaefer

*Modern English an Oral Approach*, Revised Edition, Books 8 and 9 and Charts and Pictures. Seido Language Institute.

This is a class in spoken English. It is particularly for those students who wish to develop and improve their speaking ability. Classroom work will emphasize oral drill and conversation. Therefore weekly class participation is important and attendance is required. More than 5 absences will result in failure. Students are also required to attend the Language Laboratory to listen to each week's lesson. Lessons from the textbook must be memorized so that correct responses can be given without the text. No mid-year or final examination will be given. Grades will be determined by class participation, occasional classtime quizzes, and Language Laboratory tests.

### 英語 III

◦ E301

教授 永原和夫

James Joyce: *A Portrait of the Artist as a Young Man*. Eichosha-Penguin Books.

◦ E302

助教授 豊国孝

D. H. Lawrence: *The Mortal Coil & Other Stories*. Penguin Books.

¥760

イギリスの代表的作家D. H. ロレンスの短編小説を読む。

◦ E303

助教授 君羅久則

Muriel Spark: *The Prime of Miss Jean Brodie*. あほろん社 ¥500

◦ E304

非常勤講師 高久真一  
(北海道大学文学部教授)

大山俊一注 *Macbeth*. 篠崎書林

シェイクスピアの四大悲劇の一つ『マクベス』を原典で読む。イギリスの一流の役者が吹込んだテープを聴いて、美しい文章の読み方を学び、その上で文章の解読と文学的鑑賞を行なう。有名な台詞の暗誦を課すこともある。

◦ E305

非常勤講師 脇田勇

Somerset Maugham: *Rain and Red*. 大阪教育図書 ¥650

◦ E311

教授 武本昌三

Ralph J. Williams: *Northern Neighbours - A Comparative Study of Canada and Japan*. 英宝社 ¥980

毎年このクラスでは、reading, writing, hearing, speaking のall-roundな practice を行っており、本年の授業の進め方も従来通りである。はじめの orientation の期間を除いて、ほぼ毎週、年間二十数回の小テストを受け

てもらふことになるが、その回数が15回に達しない者には例外なく単位は認めない(ただし、これはテストを15回受けさえすれば単位を認める、という意味ではない)。

年間三分の一程度の脱落者が出るのが通例なので、このクラスの授業内容については、十分に納得した上で選択していただきたい。

◦ E312 助教授 宮岡 伯人

Edward Sapir: *The Unconscious Patterning of Behavior in Society.* (プリント)

Edward Sapir: *The Grammarian and His Language.* (プリント)

Edward Sapir: *The Meaning of Religion.* (プリント)

◦ E313 講師 下村 五三夫

Erich Fromm: *The Anatomy of Human Destructiveness.* Fawcett Crest  
このクラスではテキストの13章(411ページ)「悪性の攻撃: アドルフ・ヒトラー——ネクロフィリアの臨床例——」から講読します。

◦ E314 非常勤講師 浪田 克之介  
(北海道大学文学部助教授)

D. Frost & A. Jay, *To England with Love.* (金星堂) を講読する。

◦ E315 外国人教師 Michael Carr

(1) A. Montagu, M. Mead, et alii: *Language and Culture.*

朝日出版社 ¥640

(2) C. Kluckhohn, T. S. Savory, E. Nida, et alii: *Language and Experience.* 朝日出版社 ¥700

This class will center around readings and discussions concerning the relationship between language and culture. Attendance and participation in the class are both very important.

## ドイツ語 I・II

ドイツ語の授業は下記のクラス編成により行なわれる。

	ドイツ語 I				ドイツ語 II			
火	I	A	ブ	レッシュ	II	A	ブ	レッシュ
	I	B	大	塚	II	B	大	塚
	I	C	中	川	II	C	中	川
	I	D	石	川	II	D	石	川
木	I	E	大	塚	II	E	大	塚
	I	F	佐	藤	II	F	佐	藤
	I	G	筑	和	II	G	筑	和
	I	H	加	納	II	H	加	納

### 1. クラス説明

- (1) I A・II Aは、ドイツ人講師による会話主導の授業。
- (2) I B・C・Dは講読、I E・F・G・Hは文法である。
- (3) ドイツ語IIは、II A以外すべて講読である。

### 2. 履修方法

- (1) ドイツ語I・IIともに、火曜日と木曜日の授業から必ず一科目ずつ履修すること。
- (2) I A・II Aとも履修者数を教室の都合上40名迄とするので、履修希望者はオリエンテーションの際に申し出ること。

なお、II A・I A(再履修者)とも、前年度のブレッシュ講師による授業の履修を前提としない。

- (3) ドイツ語I・IIともAクラス以外は名簿によりクラス分けを行なうので、所属クラスは追って指示する。

### 3. 注意事項

- (1) 各クラスとも授業出席を重視する。各学期1/3以上欠席した者には、原則として各試験の受験資格を与えない。
- (2) オリエンテーションを、ドイツ語Iについては4月24日(木)に、ドイツ語IIについては4月22日(火)に行なうので、ドイツ語履修希望者は必ず出席すること。
- (3) 辞書・参考書の紹介は、オリエンテーションで行なう。

## ドイツ語 I

I A

非常勤講師 ライナー・ブレッシュ  
(北海道大学文学部外国人教師)

今年度は下記の語学フィルムを用いて授業を行なう。

ゲーテ・インスティトゥート編 Suten Tag.

授業内容は、毎回フィルムを見ることから始まり、会話テキストの口頭練習、文法事項の説明、テープによる反復練習を経て、最後にフィルムの内容を(自分の言葉で)叙述することで終わる。

この授業の主眼は、目と耳と口を用いた徹底的な練習によってドイツ語の文章のパターンが自然に身に付くようにすることにあるので、出席を重視し各学期3回以上欠席した者には単位を認めない。また定期試験期間中には試験を実施せず、平常授業で各学期3回ずつ行なう。

5月6日に授業のオリエンテーションを行なうので、履修希望者は必ず出席すること。

テキスト 小塩節編「現代のドイツ語会話——ゲーテン・ターク」  
三修社 ¥950

I B

講師 大塚 譲

平易な文章で現代ドイツの種々相を興味深く紹介している親しみ易い教科書を選んでみた。所定の教科書を終えてなお時間的に余裕があれば、易しい読み物でも読んでみたい。

テキスト 岡田・岩崎編著「大学教養ドイツ語読本」朝日出版社 ¥1,000

I C

教授 中川 勇治

テキスト ヘルダー・インスティトゥート、小森他編「初級ドイツ語教本」  
芸林書房 ¥960

I D

非常勤講師 石川 裕美  
(北海道大学文学部講師)

テキストは現代ドイツ語のやさしい日常語で書かれ、今日のドイツのもつ文化的・社会的問題が取り扱われてゆく。日本の現状とも比較すれば内容的

にもおもしろくなるであろう。文章はやさしいものからだんだんむずかしくなり、各課ごとに簡単に文法事項が説明されている。また多くの練習問題とテープ使用によって、バランスのとれた語学力が自然に身につくと思われる。そのためには多少の予習・復習が必要である。

テキスト 棚橋・シュヴァルツ「ドイツ語で話しましょう」

郁文堂 ¥1,100

I E

講師 大塚 譲

数多くの練習問題を通して文法規則の徹底的な習得を図りたい。所定の教科書を終えてなお時間的に余裕があれば、易しい読み物でも読んでみたい。

テキスト 岩崎英二郎著「練習問題本位・ドイツ語初級文法」

第三書房 ¥1,000

I F

非常勤講師 佐藤 拓夫  
(北海道大学文学部講師)

テキスト 中村他著「最新・緑のドイツ文法」朝日出版社 ¥1,000

留意事項 なるべく欠席しないこと。出席点を重視します。

予習・復習を欠かさないこと。その場で指名してやってもらいます。

I G

非常勤講師 筑和 正格  
(北海道大学文学部講師)

テキスト 岩崎著「改訂新版・岩崎初歩ドイツ文法」同学社 ¥850

授業内容についての詳細な説明は、第一回目の授業時間内に行なうが、受講者には十分な予・復習が要求されることを予め明示しておく。

I H

非常勤講師 加納 邦光  
(北海道大学文学部助教授)

テキスト 高松・仲田・加納他著「ドイツの文化とことば」

芸林書房 ¥1,000

辞書の説明は教室でします。予習を必ずすること。

## ドイツ語 II

II A

非常勤講師 ライナー・ブレッシュ  
(北海道大学文学部外国人教師)

今年度は下記の語学フィルムを用いて授業を行なう。

ゲーテ・インスティトゥート編 guten Tag.wie geht's?

授業内容は、毎回フィルムを見ることから始まり、会話テキストの口頭練習、文法事項の説明、テープによる反復練習を経て、最後にフィルムの内容を(自分の言葉で)叙述することで終わる。

この授業の主眼は、目と耳と口を用いた徹底的な練習によってドイツ語の文章のパターンが自然に身に付くようにすることにあるので、出席を重視し各学期3回以上欠席した者には単位を認めない。また定期試験期間中には試験を実施せず、平常授業で各学期3回ずつ行なう。

なお、テキストはドイツ語版を使用するので、特に語彙の予習を欠かさないこと。

4月22日に授業のオリエンテーションを行なうので、履修希望者は必ず出席すること。

テキスト プリント(配布方法については追って指示する)

II B

講師 大塚 譲

量を読むことを心掛けて、易から難へ年間二冊はこなしたい。

テキスト カール・マイ著/江原編「ヴィネット」 三修社 ¥680

II C

教授 中川 勇 治

テキスト キッション著・中田編「無名の有名人」 白水社 ¥700

II D

非常勤講師 石川 裕 美  
(北海道大学文学部講師)

簡単な練習問題によって1年目で学んだ文法の復習をしながら読解力をつけることを目的とする。ていねいな註もほどこされてあり、くり返し同じような単語がでてくるので、後になると楽になるが、最初は大変かもしれないので予習に力を入れてほしい。

テキスト 西本美彦 「ことばの誕生」  
朝日出版 ¥800

II E

講師 大塚 譲

量を読むことを心掛けて、易から難へ年間二冊はこなしたい。

テキスト デュレンマツト著・江原編「嫌疑」 三修社 ¥680

II F

非常勤講師 佐藤 拓 夫  
(北海道大学文学部講師)

テキスト 未定(当分の間プリントを使用する。)

留意事項 なるべく欠席しないこと。出席点を重視します。

予習・復習を欠かさないこと。その場で指名してやってもらいます。

II G

非常勤講師 筑 和 正 格  
(北海道大学文学部非常勤講師)

テキスト 中島悠爾編「国際特急延着」 白水社 ¥700

授業内容についての詳細な説明は、第一回目の授業時間内に行なうが、受講者には十分な予・復習が要求されることを予め明示しておく。

II H

非常勤講師 加納 邦 光  
(北海道大学文学部助教授)

テキスト 信岡編「明かるいドイツ語」 三修社 ¥850

本文の予習と練習問題をやって授業に参加すること。

## フランス語 I・II

フランス語の授業は下記のクラス編成により行なわれる。各学生の所属すべきクラスは追って指示する。

	フランス語 I	フランス語 II
火	I A (江口講師)	II A (目黒教授)
	I B (佐藤講師)	II B (佐藤講師)
	I C (目黒教授)	II C (江口講師)
木	I A (谷川講師)	II A (谷川教授)
	I B (江口講師)	II B (江口講師)
	I C (デュボワ講師)	II C (デュボワ講師)

### フランス語 I 教授(併任) 目黒士門

I C (火曜日) 用書: 目黒士門編『フランス語 読本と会話』(白水社) ¥900

### フランス語 I 講師 江口 修

I A (火曜日) 用書: 目黒士門著『新稿フランス文法入門』(第三書房) ¥550

I B (木曜日) 用書: 伊地智均他編『フランス語の手引き』(行人社) ¥750

### フランス語 I 非常勤講師 佐藤卓司 (北海道大学助教授)

I B (火曜日) 用書: 川村克己著『新川村ふらんす語』(駿河台出版社) ¥900

### フランス語 I 非常勤講師 谷川多佳子 (北海道日仏学院講師)

I A (木曜日) 用書: 佐藤房吉・大木健著『入門フランス文法読本』

(第三書房)

### フランス語 I 非常勤講師 BRUNO DUBOIS

I C (木曜日) L.L.:《C'est le printemps》(教室でプリントを配布する)

### フランス語 II 教授(併任) 目黒士門

II A (火曜日) 用書: クリスチャン・ボムール著・丸山圭三郎編『マリー・アントワネット』(朝日出版) ¥700

### フランス語 II 講師 江口 修

II B (木曜日) 用書: ジョルジュ・グーゲネム著・高橋秀雄編『フランス 単語ひろい歩き』(白水社) ¥700

II C (火曜日) 用書: 大賀正喜著『フランス語で書いてみよう』(第三書房) ¥700

### フランス語 II 非常勤講師 佐藤卓司 (北海道大学助教授)

II B (火曜日) 用書: ベルコール著・松田稜編『海の沈黙』(第三書房) ¥600

### フランス語 II 非常勤講師 谷川多佳子 (北海道日仏学院講師)

II A (木曜日) 用書: リュシアン・フェーブル著・二宮宏之編『歴史を生きる』(第三書房) ¥600

### フランス語 II 非常勤講師 BRUNO DUBOIS

II C (木曜日) L.L.:《C'est le printemps》(教室でプリントを配布する)

#### 推せん辞書

- (1) 伊東英編『現代仏和辞典』(大学書林)〔1年次生向き〕
- (2) 多田道太郎他編『クラウン仏和辞典』(三省堂)〔2年次生以上〕

(3) 鈴木信太郎他編『スタンダード仏和辞典』(大修館)〔同上〕

(4) 井上源次郎他編『新仏和中辞典』(白水社)〔同上〕

#### フランス語履修上の注意

- (1) 外国語の学習は教室での練習が大事です。したがって授業出席を重視します。
- (2) 定期試験以外にも折にふれて試験を実施します。かならず受験しなければなりません。

### 中国語 I

講師 阿部 泰 記

テキスト 長谷川寛・金丸邦三共編『中国語教科書』会話篇(上)(白水社)

辞書 倉石武四郎著『岩波中国語辞典』

愛知大学中日大辞典編纂処編『中日大辞典』他

### 中国語 II

講師 阿部 泰 記

現在使用している北京商務印書館編『基礎中国語』上巻と並行して、聴く力を養うため、イェール大学出版部編『初級中国語課本』テープを用いて聴写の練習を行なう。受講者はLL教室においてこのテープを録音し、課外に練習する必要がある。

### スペイン語 I

助教授 寺崎 英 樹

テキスト: 橋本一郎・宮城昇『やさしいスペイン文法』(芸林書房)¥1,000  
野間一正『スペイン語読本』( ) ¥700

本年度は、教室での口頭練習に重点をおく。試験は、定期試験(9月、2月)のほか、各学期2回程度小試験を行う予定。その他詳細については、最初の時間(4月24日)に説明する。

推薦する辞書: 高橋正武編『西和辞典』増訂版(白水社)

### スペイン語 II

助教授 寺崎 英 樹

テキスト: H.C. Rueda de León『ラテンアメリカ入門』(白水社) ¥800  
予定と方針は、開講の日に説明する。

### ロシア語 I

教授 松本 忠 司

発音、文法、訳読、作文の初歩。

テキスト: 新田実著『ロシア語16課』(白水社)

辞書: 現在市販のものにはそれぞれ長短あるが、次のうち1点はぜひ用意すること。

八杉貞利編『岩波ロシア語辞典』岩波書店

木村彰一編『博友社ロシア語辞典』博友社

井桁貞敏編『コンサイス露和辞典(改訂版)』三省堂

ほかに、ロシア語世界の背景を知るために、つぎの本をすすめる。

東郷正延ほか編『ロシア・ソビエトハンドブック』三省堂

### ロシア語 II

教授 松本 忠 司

前期 昨年度にひきつづき、「ロシア語教科書II」(中級編)を使用し、基礎的なロシア語の表現および基本的文法知識を修得することを目標とする。

後期 近代ないし現代のロシア作家の作品のほか、社会科学関係の論説文の講読に主眼をおく。テキストは未定。



### 3 保健体育科目

#### 体育実技 I・II

教授 杉山 登

教授 藤江 正

助教授 田野 有 一

非常勤講師 中川 平 悟  
(小樽商業高校教諭)

#### I 体育実技の履修について

体育実技は必修科目であり、各自所定の時間に出席しなければならない。本学では1年目で毎週2時間(60時間)、2年目は前期・後期各2時間(30時間)を選択履修することになっている。

体育実技実施種目は必修種目と選択種目とからなり、必修種目として1年目は体力診断テスト、トレーニング法の実践、器械運動、水泳、スキー等を行なう。2年目では水泳かスキーのいずれかを選択必修とする。また、選択種目としては下記Ⅲにあげた5種目中より、1・2年目とも1種目を選択履修し、2年目についてはこの種目を前・後期のいずれかで選択履修するものとする。

#### II 必修実技種目とその内容

##### (1) 体力測定

体力診断テスト……反復横とび、垂直とび、背筋力、握力、伏臥上体そらし、立位体前屈、踏み台昇降

以上の7種目で測定実施時期は、第1回目5月上旬、第2回目が11月上旬である。体力の優劣判定は、文部省体育局のテスト判定基準により、総合点によってA・B・C・D・Eに区分されるが自己の体力の現状を把握しておくことが肝要である。

##### (2) 器械運動

マットワーク、跳び箱(跳馬)、トランポリンの3種目について予め用意されている課題[compulsory]のマスターに努める。課題そのものは高度なものではないが、運動の質的追求ともいべき技のこなし、技と技とのつなぎ等を考察し、最終的には、どう演ずれば美しいか、雄大なのか、そして安定性が期待できるのか…を実技を通して学ぶ。

##### (3) トレーニング

トレーニング法とその実際について知っておくことは、学生生活および社会生活を営むうえで体力の維持増進をはかる場合に極めて大切なことである。4月～5月の期間を体力づくりのための一般的トレーニング法、器具器材使用法、トレーニング処方等について実習し、授業時間外でも自分で処方し、自発的に継続実施できるようにもってゆきたい。なお、体力の劣る者(体力診断テストの結果、D・E級の者)については、5月以降も継続指導してゆきたい。

##### (4) 水泳

自己安全管理の一環として、水からの事故防止のため水泳技術を修得しておくことは極めて大切なことである。1・2年を通して指導段階の区分として都合上、4班に分け各班ごとに下記の内容で実施する。技術修得の過程で班を移動する者もある。実施時期等については、6月下旬～7月中旬にかけて2週間(4時間)と夏季休暇後2週間(4時間)で実施する。詳しい日時はおって掲示等により通知する。

##### 水泳実技内容

区分	実技種目	テスト種目(泳法・距離泳)
初級 Aグループ	・立ち方・背浮・立ちとび込み ・伏し浮・簡易泳法	・背浮・伏し浮からの立ち方 ……泳法 ・簡易泳法で10m以上 ……距離泳
中級 B・C グループ	・クロール・平泳 ・背泳・横泳 ・逆飛び込み・潜行	・泳法2種選択……泳法 ・1種目で25m以上……距離泳
上級 Dグループ	・クロール・平泳 ・背泳・バタフライ ・横泳・立泳	・泳法3種選択……泳法 ・1種目で50m以上……距離泳

##### (5) スキー

室内に閉じこもり勝ちな雪国の生活において、自然に親しみながらスキー技術を習得することは、冬季体育の一環として、また将来の社会生活をたのしく健康的なものとするためにも極めて有意義である。1・2年を通して指導段階の区分として都合上、4班に分け各班ごとに下記の内容で実施す。実施時期等については、1月中旬～2月中旬にかけて4週間(8時

間)実施するが、詳しい日時については、おって掲示等により通知する。

#### スキー実技内容

区分	実技種目	テスト種目
初級 Aグループ	・歩行・滑走法・方向変換 ・転倒法・登行法・直滑降 ・プルーク・ボーゲン ・シュテム・ターン	・プルータ・ボーゲン ・シュテム・ターン
中級 B・C グループ	・プルーク・ボーゲン・横すべり ・斜滑降・シュテム・ターン ・パラレル・ターン	・シュテム・ターン ・パラレル・ターン
上級 Dグループ	・パラレル・ターン・ウェーデル ン・発展技術	・パラレル・ターン ・ウェーデルン

#### Ⅲ 選択実技種目とその内容

バレーボール(前期, バスケット・ボール(後期), 羽球, 卓球, ソフトボール(前期)の5種目である。なお、人員等の関係で選択種目の変更をさせることもありうる。また、雨天の場合には体育館内で実施可能な種目に限定される。

#### Ⅳ 必須実技種目理論

必須実技種目については各々講分の講義をする予定であるが、その内容、日時に関してはおって通知する。

### ◆トレーニング・体操(器械運動)基礎理論

助教授 田野 有 一

#### ・トレーニング

今日では“トレーニング”とか“練習”とかいった言葉は実に曖昧、無雑作に用いられ、逆に言えば、それだけ便利な言葉であるといえないこともない。本論では、これらの言葉の意味するものからくりを、体力づくりの必要性とその要素を分析することからはじめ、以下、スポーツと科学、トレーニングと科学、年齢とトレーニング、競技力と体力、筋力・持久力のトレーニング、スピード・パワーのトレーニング…等の基礎知識を得ることによって、「トレーニングの種類とその方法」を探ろうとするものである。

#### ・体操(器械運動)

器械運動の種目中、とくに実技でとりあげられているマット運動、跳び箱(跳馬)、トランポリンの3種目についての運動特性と運動系列、課題の解説と実施上のポイント、補助法…等についての基礎理論を学ぶ。

なお、実技課題[compulsory]はこの時間に図解入りのプリントをもって通知する。

### ◆水泳基礎理論

教授 杉山 登

- 1 水泳の社会的背景
- 2 水泳の基礎的技術要因
- 3 競泳の技術的要因
- 4 基本的泳法
- 5 水泳の安全管理

<注>この講義は6月下旬に行なう予定であるが、おって掲示により通知する。

### ◆スキー基礎理論

教授 藤江 正

- 1 スキー概説
- 2 スキーの技術的要因
- 3 スキー技術の組み立て
- 4 スキーの操作と身体の使い方
- 5 スキーの安全管理

### 体育講義

(A) 前期 教授 森岡 知一  
(B) 後期

保健とは、健康を確保し、さらにそれを増進することと定義する。そのために、人間が努力した経過を歴史的に展望し、その成果を考察する。そのうえ、今日の問題の解決を考究しようと思う。なお、テキストは使用しない。

## 4 基礎教育科目

### 経済学概論 A

非常勤講師 加藤 睦 洋  
(小樽商科大学短期大学部 講師)

初等経済学の理論を概説する。夏休みまでは国民所得分析(マクロ理論)を紹介し、その後は価格機構の分析(ミクロ理論)に進む。

マクロ理論の内容としては、国民所得勘定、消費関数、所得決定と投資乗数、景気循環、投資の限界効率と流動性選好、IS-LM総合、財政政策と公債負担の問題を取り上げる。

次にミクロ理論の内容としては、需要・供給及び市場の簡単な分析、弾定性、間接税の帰着、価格統制と配給、効用と需要法則、費用と供給法則、生産要素の効率的使用とパレート最適、独占・寡占及び不完全競争、独占禁止政策を取り上げる。

教科書は、P. A. サムエルソン著、都留重人訳「経済学」(岩波書店刊、邦訳は上、下2巻)を使う。上巻から先に使うから、資力の無い者は当座は下巻を購入するには及ばない。

以下に老婆心ながら、事前に注意すべき事項を列挙し、後顧の憂い無きを願う。

1. 教科書及びノート(自筆のものに限る)を持参せずに講義を聞こうとする者は、教室から強制退去させる。他人のノートの複写物を持参する者も同様である。
2. 前期試験の不合格者に対しては、単位を与えない。(勿論後期試験の受験資格を剝奪する。)
3. 小生の予想では、試験合格者数が常時出席者数を上回ることはないものと思う。又講義は、体系的、論理的に展開されていくから、間引き欠席は避けた方が賢明である。
4. 単位を取得できなかった学生に対しては、たとえ卒業年次学生であろうとも一切救済措置を取らない。(勝手にレポート等を提出してきても読まない。)
5. 講義される経済学や従って試験の得点について、一部学生諸君の予断(予想得点)と実際(採点結果)の間にかかなりの相違があり、しばしばト

ラブルが起こり迷惑を被ることがある。思うに、経済というものは、誰でも日常肌身に接しているものであり、そのためにしばしば自己の経済観を絶対化する傾向が発生しがちである。しかし経済学は学問であって素人談義が通用する種類のものではない。自分が生来の経済学のいっばしの専門家であるとの自負心を早く捨て、謙虚な気持で学ぶことが単位取得への近道である。

6. 病気又は負傷によってやむをえず試験を受けられなかった者のうちで、追試験の受験を希望する者に対しては、医師の診断書を提出した者に限り認める。(但し、風邪、左手骨折等はこの限りに非ず。)2親等以内の親族に不幸があった場合もこれに準ずる。(但し死亡の事実が確認された場合に限る。)
7. 2回目の授業から正規の講義に入る。教科書は可及的速やかに入手されたい。英語力に自信のある者は、原書又はマグローヒル好学社のリプリント版(こちらの方が安い)を買う方が後々のためになる。

### 経済学概論 B

助教授 鷗 沢 秀

テキスト: P. A. Samuelson, Economics (10版, なお近々11版が出る予定) 好学社のリプリント版, または, 都留重人訳『サムエルソン経済学』(岩波書店)。講義は、テキストを中心にするが、他の材料を用いたり、説明には、式、グラフなどを多く用いて、経済学の基礎的な知識を理解してもらおう。したがって、単位を修得するためには、各自の十分な自習が必要である。

### 商学概論

(前期) 教授 鈴木 満 直

(後期) 教授 久野 光 朗

法学概論 (前期) 講師 結城 洋一郎

法というものの考え方、及び、法学上の基礎的な用語と概念を理解することを目的とする。

私たちは何故法律に従わなければならないとされるのか、私たちの権利を保障し、私たちに義務を課す法律にはどのような種類があるのか、これらの法律をめぐる具体的などのような争いがあるのか、という点に関して、前期では主として公法領域について講義を行う。

テキスト: 伊藤正己・加藤一郎編「現代法学入門」有斐閣双書(前・後期共通)

参考文献: その都度指示する。

法学概論 (後期) 教授 神田 孝夫

教科書: 前期と同一のものを用いる。

講義内容は、前期の講義をうけて、法源論につきやや詳しくとりあげるとともに、法の適用と解釈の問題、法律学に特有の技術あるいは考え方というべきものを中心に話をしたい。その際、私法的な問題が主な素材となる。

管理科学概論 (前期) 助教授 若林 信夫

(後期) 教授 沼田 久

この講義の目的の1つは、学生諸君に管理科学科についての正しいイメージを抱いてもらうことである。

前期: 主として管理科学とは何か、意思決定理論、線形計画法、アクティビティアナリシス、シミュレーション等を講義する。

後期: 管理科学のなかの大きな分野としてのオペレーションズ・リサーチについて、その簡単な歴史、考え方などを述べ、ネットワーク理論、動的計画法、ゲームの理論、グラフ理論、スケジューリング理論等について概説する。

参考文献: 必要に応じて講義中に指示する。

数 学 (S 21、S 23) 助教授 白川 寛

微分法の講義と演習を行います。積分法は後期にすこし行います。本学の専門課程において必要とされる数学的基礎ですので、しっかり学習すること。

前期 高等学校数学Ⅲの微分法 教科書 東京書籍 小平邦彦編  
新訂数学Ⅲ I, II章

後期 偏微分法 教科書 春秋社 数学基本講座 鍋谷清治, 大成節夫  
著 数学概論2 XⅢ章

1年生(80年度入学生)は、次のクラス分けに従って下さい。

(イ) S21, S22, S23……数学Ⅲを高校等で履修していない学生が受講。

(ロ) S31……数学Ⅲを高校等で履修済みの学生が受講。

さらに(イ)の学生は、以下のようにクラス分けします。

クラス	学生番号
S21	8001~8128
S22	8129~8256
S23	8257~

なお、S21, 22, 23, の受講生に対しては、数学ⅡBはすでに履修済みとみなして、授業を進めます。

参考書 春秋社「数学基本講座 数学概論1」(鍋谷, 大成著)

数 学 (S 22、S 31) 講師 兼岩 龍二

クラスS22は学生番号が80129~80256の者で高等学校で数学Ⅲを履修していない者と2年次以上の再履修希望者のクラス、クラスS31はすべての新入生のうち数学Ⅲを履修してある者と2年次以上の再履修希望者のクラスである。すべての数学を履修する新入生のうちで数学Ⅲを履修してある者は必ずクラスS31で授業を受けなければならない。教科書はS22, S31とも「野本久夫・岸正倫著; 基礎課程 解析入門, サイエンス社」であるが、S22とS31とでは進度、履修範囲が異なる。講義内容の主なるところはS22, S31共に偏微分法であるがS31では重積分も講義する。この教科書は微積分の理論的扱いを重視しているので、高等学校の数学に慣れている諸君は最初とまどうかもしれないが、気分を新たに、よく出席して、よく聞き、よく勉強することがそれらとまどいを克服する道と思って下さい。

## 5 専門教育科目

### 統計学

教授 久次智雄

#### 講義内容

- 1 度数分布の分析
- 2 関係の分析
- 3 時系列の分析
- 4 確率と確率分布
- 5 標本理論
- 6 推定の理論
- 7 検定の理論
- 8 予測と決定

#### テキスト

森田優三著『新統計概論』（日本評論社）

#### 参考書

森田優三・久次智雄著『演習統計概論』（日本評論社）

(注) 出席を重視する。

### 数理統計学

教授 久次智雄

#### 講義内容

1. 確率変数と確率分布 (補論)
2. 標本統計論の分布
3. 線形代数 (補論)
4. 多変量正規分布
5. 回帰分布・分散分析の基礎
6. 推定論・検定論の基礎
7. ベイズ的推論

#### 主要参考書 (各自入手しておく)

岩田暁一著『経済分析のための統計的方法』（東洋経済新報社）

#### その他

1. 「統計学」, 「数学」および「応用数学(代数)」はすでに履修済みであるものとして講義を進める。
2. 当初は, 2年次のときの「統計学」のテキスト, 森田優三著『新統計概論』を持参すること。

### 経済原論 I

(前期) 助教授 鶴沢 秀  
(後期) 教授 藤井 栄一

前期と後期で講義担当者が交代するが, 単位履修上からいえば, 担当者が1名の場合と同じで, 前期と後期の両方の試験等を総合的に考慮する。

(前期) (1)レオンティエフによる産業連関分析およびその応用例, (2)経済成長論, に関して話す予定。参考文献: R. Dorfman, P. A. Samuelson and R. M. Solow, *Linear Programming and Economic Analysis*, McGraw-Hill Book Company, 1958. (好学社リプリント版あり。)邦訳: 安井琢磨, 福岡正夫, 渡部経彦, 小山昭雄共訳『線形計画と経済分析』I, II(岩波書店, 1958-1959)。森島通夫『産業連関論入門』(創文社, 1956)。二階堂副包『数理経済学入門』(日本評論社, 1971)。

### 経済変動論

教授 増井 幸夫

#### 講義内容

- 第1章 序論: 経済システムの変動性とその原因
- 第2章 新古典派成長モデル
- 第3章 貨幣経済の長期恒常成長モデル
- 第4章 成長率変動のメカニズム: 調整動学体系
- 第5章 ケインズ派モデルとマネタリストモデル
- 第6章 インフレーションと失業
- 第7章 経済安定政策の有効性

重要参考文献 M. ダービー『中級マクロ経済学』マグローヒル好学社(近刊), M. フリードマン『インフレーションと失業』マグローヒル好学社, その他講義中に示されるもの。

## 経済学史

助教授 野 沢 敏 治

スミス“国富論”の形成史。

“国富論”は18世紀西ヨーロッパの自己認識をはたそうとした一つの書です。今年度はアダム・スミスに焦点をあて、人間の問題を経済学において知ることの意義をとりだしてゆきます。講義はあまり体系的な構成をとらずにけれども、スミスがどのようにして重商主義を超克していったかを内在的に解説してゆきます。ときには、ケネーやリカードとの対比において、また昨年度講義できなかったマルクスとドイツロマン主義経済学（リスト）との関連において、スミスをとりあげます。

序 経済学史にあたえられたテーマ

I 重商主義の諸問題

II 道徳と法における人間の歴史的かつ比較社会学的認識（啓蒙主義の再検討）

III “国富論”体系の形成とその構造

参考書 次のものが読まれるべきです。

内田義彦 経済学の生誕 未来社 1953年（増補版1962年）

平田清明 経済科学の創造—『経済表』とフランス革命—岩波書店1965年

M. フーコー 言葉と物—人文科学の考古学—新潮社 1974年

E. カッシーラー 啓蒙主義の哲学 紀伊国屋書店 1962年

## 経済原論 II

非常勤講師 唐 渡 興 宣  
（北海道大学経済学部助教授）

マルクスの経済学批判体系を全体として講義する。したがって、講義の内容は以下のとおりである。I. 資本, II. 土地所有, III. 賃労働, IV. 国家, V. 外国貿易, VI. 世界市場と恐慌。講義は以上の六部門編成からなるが、力点は前半体系（I. II. III）に置く。とりわけ、I. 資本の項目に力点を置く予定である。テキストは拙著『世界市場恐慌』（新評論、近刊予定）を利用する予定である。『資本論』については邦訳本として、大月書店版か青木書店版を利用されたい。

## 計量経済学

助教授 遠 藤 孝 薫

講義内容

- 1 序
- 2 回帰分析
- 3 同時方程式モデル

参考書

J. Jonson, *Econometric Methods*, 2/e, McGraw-Hill Kogakusha, 1972  
（竹内ほか訳『計量経済学の方法（上、下）』東洋経済新報社）。

その他は講義中に指示します。

## 経済史概論

教授 井 上 巽

## 日本経済史

助教授 助 長谷川 伸 三

本年度は日本資本主義の成立・発展過程のうち、幕藩体制解体期（江戸後期）、原始的蓄積期（幕末・明治前期）、産業資本確立期（明治後期）に重点を置いて講義する。テキストを使用するが、講義はテキストの内容に必ずしもこだわらずに進めていく予定である。日本資本主義の特質がその成立期に、内外の諸条件によって刻みこまれたことを歴史的に把握できれば、ほぼ目的に達せられるといえよう。なお評価は、レポートの提出（前期）と期末試験の結果によって行なう予定である。

テキスト 石井寛治著『日本経済史』東大出版会、1976年刊。

主要参考文献 山田盛太郎著『日本資本主義分析』岩波文庫。揖西光速他著『日本資本主義の成立』全2冊・『日本資本主義の発展』全3冊、東大出

版会。大江志乃夫著『日本の産業革命』岩波書店。石井寛治他編『近代日本経済史を学ぶ』上・下，有斐閣。岩波講座『日本歴史』近世4～近代4，岩波書店。後藤靖他著『日本資本主義発達史』有斐閣。安藤良雄編『近代日本経済史要覧』東大出版会。

## 経済政策

講師 小平 裕

経済政策の基礎理論として、「厚生経済学」を講義する。具体的には、「完全市場に於る資源配分」を論じた後、「市場の失敗」の話をする。時間が許せば、「所得分配」も話したい。参考文献には、

熊谷尚夫『厚生経済学』（創文社 昭和53年）

を挙げておく。マクロ的な政策の話は予定していない。

講義は、最小限、経済学概論及び経済原論Ⅰのマイクロ理論を理解して居る事を前提にして行なう。単位認定は、2回及至3回行なう試験の結果で行なう。救済措置は一切行なわない。学講予定者は、参考文献を一覧の上、自己の期待する内容か考えてから、履修届を出す事。

## 工業経済学

教授 吉武清彦

I 産業構造の意義

II 技術進歩

III 独占と競争

IV 独占対策

V 二重構造論

VI エネルギー経済の展望

VII 日本の公企業の分類と歴史

VIII 社会資本論

IX 日本公企業の財政

文献

篠原三代平『産業構造論』（筑摩書房、第2版、経済学全集18）

宮沢・新野・斎藤『現代日本経済論』（有斐閣選書）

両角良彦『競争と独占の話』（日経文庫）

吉武清彦『英文日本の公企業』（日本評論社）

江見康一・塩野谷祐一『日本経済論』（有斐閣双書）

注 講義の内容及び順序について若干の変更が生ずることがある。

## 社会政策

教授 吉武清彦

第I篇 社会政策史

第II篇 社会政策と労働経済学

第III篇 社会政策各論

文献

大河内一男『社会政策』（総論・各論計2冊）有斐閣

隅谷三喜男『労働経済論』（筑摩書房）

隅谷三喜男『労働経済論』（日本評論社）

## 財政学

教授 早見 弘

第1章 日本における政府機能の発展と財政の役割

第2章 予算政策の目標

第3章 公共財の理論と集合的選択

第4章 租税の規範理論Ⅰ：利益説

第5章 租税の規範理論Ⅱ：能力説

第6章 租税の実証理論

第7章 租税の理論と実際

第8章 フィスカル・ポリシーの理論

第9章 国債と国債管理政策

参考文献 館・貝塚著『財政』（岩波書店）

藤田・貝塚編『現代財政学』（有斐閣）

その他、講義中に指示する。

## 国際経済論

講師 佐竹正夫

国際経済論は伝統的に政策志向的な学問で、理論の背後には必ず政策的な

問題が潜んでいた。今日とてそれは例外ではない。現代の様々な国際経済問題——例えば、日米経済摩擦、石油危機、世界的なインフレーションと不況、多国籍企業等——を解明し、政策への指針を与えるものとして理論が存在している。このことは勿論、国際経済論がこれらの諸問題をすべて解明しているということではない。理論は問題を理解するための基本的な原理と道具にすぎない。しかし、それなしには複雑な現実の問題を解決することは出来ない。

#### 講義の概要

### I. 国際貿易

1. 貿易からの利益
2. 貿易パターンの決定因
3. 経済成長と貿易

### II. 貿易政策の理論

4. 関税の効果
5. 保護貿易主義

### III. 国際収支

6. 外国為替市場と国際収支表
7. 為替市場の安定条件
8. 国際収支の調整メカニズム
9. 輸入インフレーション

### IV. 生産要素の国際的移動

10. 直接投資

#### 補論 日本の通商政策 (1945—1979)

昨年は、1970年迄の日本をめぐる国際経済問題を背景に議論を展開したが、今年は1970年以降の諸問題を念頭に置きながら話を進めたい。教科書は使用しない。参考文献は講義の中で適宜示すが、1冊あげるなら、小宮隆太郎・天野明弘著「国際経済学」岩波書店が適当である。ただし講義はこの書物よりも易しくするつもりである。

### 貿易政策

教授 麻田 四郎

戦後の世界経済体制（ブレトン・ウッズ体制）は発足後30年を経過して、

現在大きな転換期に直面している。講義ではこの30年を回顧し、そのなかからわが国の国際経済政策への指針を探したい。

- (1) 前史：両大戦間の世界経済
- (2) IMF体制の30年
- (3) GATT体制の30年
- (4) 南北問題の展開

昨年度は(1)、(2)を取り上げるに止まったが、本年度は(2)～(4)に力点を置きたい。「国際経済論」を必ず履修しておくこと。参考書は講義のなかで随時指摘する。

### 国際金融論

教授 足立 禎

1. 新IMF体制と国際通貨制度
2. 外国為替の基礎理論
3. 先物為替の理論と実際
4. 持高の理論と為替操作
5. 中央銀行の為替操作と市場介入
6. 金問題とSDRの将来
7. 国際金融市場の新動向

#### 重要参考文献

E. ゴーメン「屈伸為替相場制度」足立禎訳 勁草書房  
足立 禎 著「外国為替市場」日経新書 No.188

### 金融経済論

助教授 釜江 廣志

1. 家計・企業の金融行動
2. 貨幣の需要・供給
3. 金融機関
4. 金融政策

テキスト 牛島正・林敏彦（編）「マクロ経済学の基礎」(有斐閣)  
参考書 鈴木淑夫「現代日本金融論」  
石田定夫「金融市場」(ともに東洋経済新報社)



## 流通組織論

非常勤講師 片桐誠士  
(小樽商科大学短期大学部教授)

流通組織の問題は、古くて新しい問題ではあるが、その体系確立は必ずしも明確とはいえず、未だしの観がある。

本年度の講義では、流通組織の問題性を明確にし、それがいかなる歴史的展開をみせて今日に至っているかを理論的・体系的にあとづけてみることにする。

1. 流通論の対象と方法
2. 交換・商品流通の歴史的展開
3. 資本制商品流通の特質
4. 現代の流通組織

参考文献：白髭 武著「現代マーケティング論」(日本評論社)  
鈴木 武著「商業と市場の基礎理論」(ミネルヴァ書房)  
森下二次也監修「商業の経済理論」(ミネルヴァ書房)

## マーケティング

非常勤講師 佐々 蘭  
(小樽商科大学短期大学部講師)

価格政策、製品政策、経路政策、販売促進政策等、マーケティングの基本的諸政策について概説する。次いで、これらの諸政策についての理解を基礎として、マーケティングをめぐる今日的諸問題を取扱うが、本年度は殊に、消費者問題と公正取引委員会による流通系列化規制強化の動向に鑑みマーケティングと独占禁止法の関係、を取り上げて言及する予定である。

(教科書、参考文献)

講義は必ずしも教科書通りに進行しないが、一応次の書物を掲げておく。

教科書：森下二次也監修『マーケティング経済論(下巻)』ミネルヴァ書房  
参考文献：風呂勉『マーケティング・チャンネル行動論』千倉書房；白髭武『現代マーケティング論』日本評論社；荒川祐吉、森下二次也編著『体系マーケティング・マネジメント』千倉書房。なお、その他の文献については、必要に応じて講義の際に紹介する。

## 商品学

教授 斎藤 要

本年度は総論として、商品の社会的価置と市場価置を品質要因、価格要因、広告宣伝などの販売活動要因と関連づけて追求し、特に品質構造、品質評価、品質競争については詳説する。

各論としては重要個別商品の特性とか商品知識については関連説明する予

定である。

テキストは使用せず、必要に応じて要綱を印刷したプリントを配布し、なお商品実験をも実施する予定である。

## 国際マーケティング

講師 森田 憲

国際マーケティングには明確な体系が確立されていない。講義自体が体系化への模索である。

体系化を試みるにあたっては、関係諸国の経済政策および国際環境との関連を精確にとらえることが不可欠であると思われる。そこで、国際マーケティングの講義では、国際経済と企業行動との関係についての諸問題をひろい上げて考えてみることにする。

本年度の講義では、

1. 多国籍企業の理論
2. 投機の理論

に関するさまざまな問題を取り上げる。

教科書：なし。

参考文献：講義の中で適宜指示する。

## 商業英語

非常勤講師 北村正司  
(小樽女子短期大学教授)

外国貿易の流れを体系的に展開し、貿易実務と英語商業通信文を統一的に記述し、実務に関する基礎的な知識の習得と商業英語の読解力および表現力の養成をはかりたい。

1. 英語商業通信文の構成と形式
2. 取引関係の樹立
3. 売買契約の成立
4. 売買契約の履行
5. 電報とテレックス

また商業英語の活用に必要な英文法の知識と感覚を養いたい。

テキスト 島谷剛三著 「国際貿易英語」(成美堂) 1,500円

## 証券市場論

助教授 石原定和

●証券市場理論は、今や新しい展開をむかえつつあるように思われる。

1958年～1965年にかけて、アメリカにおいては証券市場理論が、金融論、財務論、はては一般均衡論的経済理論と関連させられて急速に発展してきたのである。

すなわち、金融構造の変化に対応して証券市場理論は変貌をとげてきたといえる。一方では金融資産の累積・財関投資家の発展→資産選択論（マーコビッツ）、他方では配当性向の低下・自己金融の増大・株価の成長→MM理論（モジリアーニ＝ミラー）という投資側と企業財務側の対応であった。

その上に、株式の均衡化過程を説明しようとしてロバーツやオズボーンの効率的市場仮説が登場し、財関投資家の保守的な投資政策を擁護し、さらに株価の高さを決めるものとして、資本資産価格形成モデルが開発された。

ところが、1968年の金二重価格制以来、スタグフレーションがおり、株価の成長が鈍化するにつれて、新たな理論が要求されるようになった。

最近、モジリアーニ＝コーンが「インフレーション、合理的な評価および市場」なる論文を発表し、株価のアンダー・ヴァリュウの原因を追求し、効率的市場仮説を捨て、株式過小評価説を提唱しはじめたからである。現在、アメリカにおいては「インフレ・株価」論争が激化しつつある。スタグフレーション下での株式市場論構築の準備期間ともいえよう。

以上、概説したように理論は、背景の経済現象あるいは現象を規定する経済構造の変化につれて現出し、発展するものである。

したがって、本年の講義はアメリカ証券・金融市場の構造変化を念頭において論理的・歴史的な検討を心がけるつもりである。

## 証券金融論

教授 鈴木満直

- 第1講 資本市場分析のための視点
- 第2講 開放下における国内金融市場
- 第3講 国内金融市場における貨幣市場と資本市場
- 第4講 国内資本市場
- 第5講 国際資本移動（ポートフォリオ資本移動）

の順に講義する。

使用テキスト

拙著『ポートフォリオ理論と資本市場の機能』 勁草書房

## 経営学原理

助教授 篠崎恒夫

### I 本科目の意義

本科目は、現代企業経営の運動法則を客観的に解明することを目的とする学問である。したがって、いかに企業を経営するかというハウトゥの伝授は講義の直接的内容とはならないので、かかる期待は無用である。講義では経営を資本運動の側面から促え、現営現象の本質との関りを、資本運動と人、組織と個人などの問題に即して解明しようとする。

### II 本科目の位置づけ

本科目は、今日、独立の学問としての存在を示しているが、その昔、経済学から分化したものであるために、経済学の基礎概念を多分に用いる科目である。また、経営現象の解明のためにインターディシプリナリー（学際的）なアプローチが用いられているところから、多くの他の隣接科学との関りを併せ持つ。その為に、受講者は、かかる隣接科学の知識を確固たらしめて講義に臨むことが要求される。

### III 講義内容

- 1 経営学の本質と課題
- 2 ドイツ経営学の生成
- 3 経営管理論の展開
- 4 企業形態の展開
- 5 経営者論
- 6 人間関係論
- 7 意思決定論

### IV 参考書

馬場克三著「経営経済学」税務経理協会  
川崎ほか編「現代資本主義と経営学説」ミネルヴァ書房  
その他、講義中に指摘することがある。

## 経営学説史

非常勤講師 吉田和夫  
(関西学院大学教授)

戦前のドイツ経営学の全盛期たるワイマル体制期は、僅か10数年にして崩壊し、ヒトラー・ファシズムに道を譲らざるをえなくなった。合理化運動の破綻、不況、ファシズムの台頭というのがその道であった。この歴史的教訓を踏まえつつ、今日的視点からドイツの経営学史を展開したい。

### I 経営学史の課題

### II 独占の成立と私経済学

### III ワイマル経済体制と経営経済学

#### (1) ドイツ革命と労資協調思考

#### (2) 合理化と収益性思考

#### (3) 世界恐慌と全体経済思考

### IV 西ドイツ経済体制と経営経済学

#### (1) 社会的市場経済と管理論的思考

#### (2) 社会的市場経済の動揺と決定論的思考

テキスト：川崎文治・橋本博・吉田和夫『現代資本主義と経営学説』ミネ

ルヴァ書房

参考文献：吉田和夫『ドイツ合理化運動論』ミネルヴァ書房

## 経営史

助教授 辻原 悟

昨年度からの続きを行ないます。具体的には南北戦争以後～現在に至るアメリカの企業経営の史的展開について講義する予定です。時間的な余裕があれば日本の企業経営についても比較史的観点を導入してみたいと考えています。

### 参考書

ハーマン・E・クルース, チャールズ・ギルバート・鳥羽他訳『アメリカ経営史(上)(下)』東洋経済新報社 昭和49年

A・D・チャンドラー・Jr, 鳥羽他訳『経営者の時代(上)(下)』東洋経済新報社 昭和54年

小林袈裟治『アメリカ企業経営史研究』有斐閣 昭和54年

その他

毎年のことですが、単位の認定については厳しくやるつもりですので、あとになって後悔することのないようにして下さい。

## 経営管理論

助教授 中橋 国蔵

### A 講義内容

経営組織における管理の理論の生成・発展について講義する。主要な項目はつぎのとおり。

#### I 古典的管理論

#### II 人間関係論とその新しい展開

#### III 近代組織論

#### IV 戦略的計画論

#### V 条件適合理論

#### VI 経営戦略と組織

### B 準テキスト

F. E. Kast and J. E. Rosenzweig, *Organization and Management*, 3rd ed., 1979, McGraw-Hill-Kogakusha 約2,000円

### C 主要参考書

北野利信編『経営学説入門』有斐閣(昭52)

占部都美著『改訂経営管理論』白桃書房(昭50)

同著『経営戦略と経営計画』白桃書房(昭46)

野中郁次郎他著『組織現象の理論と測定』千倉書房(昭53)

加護野忠男著『経営組織の環境適応』白桃書房(昭55)

## 労務管理論

助教授 林 伸二

労務管理上の諸問題を最新の理論に基づいて説明・解明していきたい。

テキスト：W. L. French, *The Personnel Management Process*, 4th ed., Houghton Mifflin co. 1978 ¥2,080

参考文献：問題の性質によって日・英・独語の文献を使用。たとえば、

R. M. Steers & L. W. Porter, *Motivation and Work Behavior* 1979

C. E. Schneier & R. W. Beatty, *Personnel Administration Today* 1978

B. Wilpert & A. Negandhi, *Work Organization Research* 1978

R. G. Sell & P. Shipley (ed), *Satisfactions in Work Design* 1979

- C.L. Cooper & R. Payne (ed). Stress at Work 1978  
 K. Chmielewicz, Arbeitnehmerinteressen and Kapitalismuskritik in der Betriebswirtschaftslehre 1975  
 H. Matthofer, Humanisierung der Arbeit and Produktivität in der Industriegesellschaft 1977  
 K. Stollreithen, Mitbestimmung 1975

## 財務管理論

非常勤講師 佐賀卓雄  
 (小樽商科大学短期大学部助教授)

### I 講義内容

規範的財務論の内容について講義します。講義編成は次のようになります。予定  
 です。

#### 序論

- (1) 企業財務論の生成と展開
- (2) 財務職能論
- (3) 規範的財務論のフレームワーク
1. 財務レヴァレッジと財務リスク
2. 投資決定論
3. 資本構成と資本コスト
4. 配当政策論
5. 資本市場と財務政策

II 準テキストとして高橋昭三著「新訂版 経営財務論」森山書店を使用します。

#### III 参考書

財務論のテキストには種々のタイプのものがあるが、ここでは主要なもののみあげ、それ以外はその都度紹介する。

- (1) 古川栄一著「財務管理」経林書房
- (2) 柴川林也著「財務管理」同文館
- (3) J・F・ウェストン著「企業財務論の方法」東洋経済新報社
- (4) J・F・ウェストン&E・F・ブリッグム共著「経営財務」I・II 東京大学出版会
- (5) 後藤幸男・森昭夫編「経営財務」有斐閣双書

## 産業心理学

教授 和田 完

応用心理学としての産業心理学が扱う多種多様な問題の中から、いくつかの話題を取り上げ概説する。まず、能率という問題を焦点として生まれた産業心理学の成立過程を史的に眺めた後、能率に対するマイナス要因を心理学的に考察する。特に、本年度は、労働環境の中で生じる個体の不安や葛藤が分析の対象として選ばれるだろう。

テキスト：平井富雄著「精神衛生管理」中公新書

## 簿記学

(A) 講師 福島吉春  
 (B) 教授 久野光朗

### (1) クラス編成

次のとおり、受講者を学生番号によってA・B 2クラスに分ける。

2・3年次：001～200はA, 201以降はB。

4年次以上：001～130はA, 131以降はB。

### (2) 講義内容そのほか

授業は、「企業の言語 (Language of business)」といわれる会計の基礎になる複式簿記の原理、記帳手続、帳簿組織、決算整理などを理解してもらうことを目的にすすめる。なお、簿記学はひとつの体系であるから、全体を理解していなければ意味がない。したがって受講者は一年を通じて地道な努力を要求される点、銘記されたい。

また簿記学は他の会計関係科目の基礎になることを付け加えておく。

### (3) テキスト

沼田嘉穂『簿記教科書 (10訂版)』(同文館, 昭和53年) および『簿記教科書 (10訂版) 記帳練習帳』。

### (4) 参考書

片野一郎『簿記精説 (上・下)』(同文館), 沼田嘉穂『完全簿記教程 (I・II・III)』(中央経済社) および『帳簿組織』(中央経済社), 井上達雄『例解会計簿記精義』(白桃書房), 飯野・染谷編著『明解簿記—3級 (商業簿記)』および『同一2級 (商業簿記)』(ともに国元書房)。

なお、簿記の内容や理論は会計学に負うところが大きいので、つぎのような基礎的な会計学のテキストを読んでおくと、簿記の内容を深く理解し、

また興味をもって学ぶのに役立つ。

阪本安一『基礎会計学』（中央経済社），染谷恭次郎『会計学』（中央経済社），飯野利夫編『現代会計学入門』（有斐閣）。

### 簿記演習

非常勤講師 渡辺和夫  
(小樽商科大学短期大学部助教授)

簿

株式会社における簿記上ならびに会計上の諸問題に焦点をあて講義を行なう。範記の基礎知識があるものとして講義を進めるので，簿記学を履修済であることが必要である。また，会計理論の内容とも深く関わりあいをもつので，会計学を同時に履修することが望ましい。

主な講義内容：

I 総論

II 各論

§ 1 資省会計

§ 2 社債会計

§ 3 繰延資産会計

テキスト：

中村忠著「株式会社会計の基礎」白桃書房。

授業の進め方：

基礎的な知識を講義し，練習問題をあわせて行なう。同時に，簡単な報告発表を各人にやってもらう予定です。

### 会計学

教授 久野光朗

最初の授業でガイダンスを行ない，参考書の紹介などもいたしますが，授業内容を大別すれば次のとおりです。

§ 1 総論

§ 2 測定論

収益，費用，資産，負債，資本

§ 3 伝達論

§ 4 各論

テキスト：

太田・飯野，『会計学』（千倉書房，1976）

参考書——現在入手可能な標準的参考書：

黒沢 清，『近代会計学』（春秋社）

山下勝治，『会計学一般理論』（中央経済社）

飯野利夫，『財務会計論』（同文館）

青柳文司，『会計学の原理』（中央経済社）

黒沢 清，(主編)，『近代会計学大系』第1巻～第5巻，第10巻  
(中央経済社)

神戸大学会計学研究室編，『会計学辞典』（同文館）

### 管理会計

助教授 中善宏

講義内容

I 総論

II 短期経営計画と予算編成

III 個別計画の設定

IV 原価管理

V 資金管理

VI 経営分析

VII 管理会計システムの設計

テキスト

横浜市立大学会計学研究室編，「管理会計論」（同文館）¥1,400

参考書については，上記のテキストの巻末を参照のこと，また必要に応じて講義中に適宜指摘する。

### 外国語特殊講義

## 外国書講読A

講師 福島吉春

テキストは、I.W.Keller and W.L.Ferrara, *Management Accounting for Profit Control*, Mc Graw-Hill Publishing Co. Ltd., 2nd ed., 1966 のリプリント版（マグローヒル好学社）を使用する。

管理会計の内容は1960年代にはいって大きく変化したと考えられるが、同書はそれ以前の理論を要領良くまとめるとともに、爾後問題となっていく諸点を指摘した好著である。

授業は同書の第1部 introduction と第2部 management accounting for factory operations を受講生諸君に輪読・和訳してもらいながら内容についてコメントを加え、話しあうかたちですすめる。なお、同書が要求する知識はかなり広いため、簿記学を履修済みで、かつ会計学および管理会計と並行して履修することが望ましい。

ちなみに学年末の成績評価にあたっては、科目の性質上、試験の成績とともに授業の出席率を重視する。

## 外国書講読B (独語)

非常勤講師 小田福男  
(小樽商科大学短期大学部講師)

資本主義企業と社会主義企業の比較検討および各々の特質の具体的解明を大きな研究課題として持ちつつ、今回は社会主義企業経済の研究を課題とします。具体的には、ドイツ民主共和国(東ドイツ)の経営経済学の基本的文献を輪読します。

Sozialistische Betriebswirtschaft für Ökonomen,  
Fachschullehrbuch, Verlag Die Wirtschaft, 1976.

なお、この文献のドイツ語は文章構造が単純であり、比較的読みやすいことを申し添えておきます。

## 財産法 I

教授 神田孝夫

民法典は5編から成り、そのうち第4編親族、第5編相続を家族法とよび、第1編総則、第2編物権、第3編債権を財産法とよぶのが通例である。

本講義では、財産法の前半の第1編と第2編が主要な対象となる。民法典は、周知のように、私法の基礎法であり、講学上も、法律学一般に妥当する数多くの基本的な概念が登場する。その意味で、他の法分野を勉強する前提としても、これを十分に勉強することが必要である。本学では種々の事情から財産法I、IIと8単位分しか民法の講義が用意されていないため、論義内容が重要論点主義にならざるをえず、比較的理解の容易な部分は学生諸君の自習にゆだねることになると思う。当然のことながら、私としては講義に最大限の努力を振りむけるつもりである。学生諸君もぜひ真剣にとりくんでもらいたい。

教科書 我妻栄・有泉亨「民法I」(一粒社)

参考書 山島正男ほか編「教材民法判例」(北大図書刊行会)

なお、上は前年度と同一であるから、先輩から譲受けるのも得策である。六法全書は必携(どの出版社のものでもよい。ただし、試験の際には、判例や解説の付いている六法の持込みは許されないから、予め、この点を了解のうえ講入されるとよい。自習もしくは講義の受講用のためのこのような六法をもつことはむしろ好ましいのだが、念のため。)

## 財産法 II

助教授 飯塚和之

債権法を対象として講義する。財産法Iを既に受講していることが望ましい。

講義内容

I 債権法総論

II 契約法総論

III 契約法各論

テキスト: 我妻・有泉『民法II債権法(三版全訂)』一粒社

参考文献: 山島ほか編『教材民法判例』北大図書刊行会

## 会社法

非常勤講師 石原全

(小樽商科大学短期大学部助教授)

本年は、商法第二編会社法のうち、株式会社を中心として、講述します。株式会社については、近時改正作業が進行しており立法化の段階に入るよう

ですので、これについても必要に応じて言及していきます。教科書は使用しませんが、参考文献を若干あげておきます。

上柳・北沢・鴻・竹内編：会社法Ⅰ，Ⅱ（商法講義(2)・(3)）（有斐閣）

今井・神崎等著：コンメンタル会社法(1)・(2)（有斐閣）

河本：現代会社法（新版）（商事法務研究会）

神崎：商法Ⅱ（会社法）（現代法律学講座）（青林書院新社）

鈴木：新版会社法（全訂第一版）（弘文堂）

田中（誠）：新版会社法（千倉書房）

会社判例百選（ジュリスト別冊）

なお、我国の株式会社には戦後米法の影響を多大に受け、改正も米法を母法としているといえます。この点で、後期開催される Dennis S. Karjala フルブライト交換教授の国際取引法、商取引法を受講することが望ましい。

## 商取引法（前期）助教授 青竹正一

前半は、手形・小切手法について講義します。手形および小切手は、取引の手段としてきわめて重要な作用を営んでいる。有価証券の代表的なものである。そして、それを規整する手形・小切手法は技術的な性格の強い法律であります。そこで、技術的な法規整を要請する理由が何であるかを知るために、手形・小切手法の基礎理論を述べたのち、約束手形・為替手形および小切手の具体的法律問題について説明して行きます。なお、手形・小切手法については判例が理論および実務を知るうえで重要となるので、関係の判例はできるだけとりあげる予定です。

教科書

上柳他編『手形法・小切手法（商法講義(4)）』有斐閣

参考書

ジュリスト別冊『手形小切手判例百選（新版・増補）』有斐閣

## 商取引法（後期）フルブライト招聘教授 カルジャラ

後半は、フルブライト交換教授のカルジャラ教授が、アメリカ資本主義社会における企業像を、法的側面から提示することを目的とした講義をします。

まず、アメリカ法制度一般を概観したのち、小規模閉鎖会社、大株式会社等についての組織面での法規制、資金調達に関する規制、金融機関との関係、証券取引法、企業の社会的責任、税法との関係等の問題が、有機的に紹介される予定です。将来、日米に限らず国際的取引に関与することを考える学生にとっては、異質の法文化のもとでのアプローチにふれる絶好の機会であると思われます。

カルジャラ教授は日本語もできるので、講義はつとめて日本語で行なう予定とのことです。また、前半の担当者（青竹）も出席しますので、多数の受講を望みます。なお、資料が講義の際配布されますが、いずれも貴重なものと思われます。

## 憲法 講師 結城洋一郎

「憲法」という法形式が成立する歴史的な過程とその意義を学び、わが国の憲法については、基本的人権（日本国憲法第三章）を中心に具体的な裁判例を参照しながら講義を行う。

テキスト：特に指定しない。（指定を希望する者が多ければ、開講後指示する。）

参考文献：ジュリスト別冊「憲法の判例（3版）」有斐閣

同 「憲法の争点」

## 労働法 助教授 道幸哲也

雇用関係に由来する法的紛争をいかに解決すべきかを、主に裁判例を素材にして講義します。講義は、問題点の指摘、法的論点・裁判例の説明、討論との順序でおこないます。

講義内容は概略以下のとおり。

1. 市民法から社会法へ
2. 集团的労働法  
組合内部問題 団体交渉 労働協約 争議行為 不当労働行為制度  
官公労働法
3. 個別的労働法

労働協約 就業規則 賃金 労働時間・休暇 解雇・懲戒 労災 女子・年少労働者

テキスト：久保・下井「労働法を学ぶ人のために」世界思想社

ジュリスト別冊「労働判例百選（3版）」

参考書：「労働法の争点」有斐選

なお、労働法を理解するためには、民法及び労働経済学の基礎知識が不可欠です。

## 環境法

助教授 飯塚和之

本講義は、本年度はじめて開講される授業科目である。環境法（Environmental Law, Umweltrecht）およびそれを対象とする環境法学は、法律学の分野では、もっとも新しいものであり、生成の途上にある。「環境法」という「法律」は存在せず、学問としての体系も確立されていない。その意味では、未開拓の学問領域である、といてよい。本講義では、これまでの判例・学説その他の素材の検討をとうして、環境法の体系を講想してみたい。

さしあたり、下記のような内容を考えている。但し、前期は、不正行為法について講義することになっている。

### 講義内容

I 序説：環境法研究の意義と課題

II 環境法の対象

III 公害の規制

IV 公害犯罪の処罰

V 公害被害の救済

テキスト：不正行為法のテキストとして、我妻一有訳『民法Ⅱ債権法（三版全訂）』一粒社を使用する。環境法については、参考文献として授業のなかで指摘する。なお、六法（岩波基本六法、有斐閣小立法など）は必携のこと。

## 経済法

講師 和田健夫

独禁法を中心にすえて次の2つの観点から講義をすすめる。(1)我が国にお

ける独占禁止政策の変遷のなかで独禁法はどのような取り扱いをうけてきたのか。(2)独禁法はいかなる手法によって法目的を達成しようとしているのか。この場合には、実際の裁判例、公正取引委員会の審決例を用いる。

教科書は特に指定しないが参考書として次のものを挙げておく。

今村成和『独占禁止法（新版）』有斐閣

正田彬・実方謙二編『独占禁止法を学ぶ』有斐閣

その他

ジュリスト別冊53『独禁法審決・判例百選（第二版）』有斐閣

## 経済刑法

講師 振津隆行

特殊個別的領域としての経済刑法を論究するためには、前提的に先づ本来の刑法の基本的な諸原理を密明することが是非とも必要である。従って、本年度の講義は、前期において総論的に刑法の基本的な諸原理を取り扱い、後期において各論的に経済刑法の個別的な諸問題を論じてゆくこととする。

テキスト：平野龍一著『刑法概説』（東大出版会）

参考書：藤木英雄著『刑法各論』（有斐閣大学双書）

藤木英雄著『経済犯罪』（日経新書）

西原春夫著『犯罪各論』（筑摩書房）

その他 平野龍一著『刑法総論Ⅰ、Ⅱ』（有斐閣）

中山研一著『口述刑法総論・各論』（成文堂）

等が有益である。

## 国際法

教授 大谷良雄

本年度の講義内容は次のとおりとする。

序論 国際社会の基礎構造

第1章 国家

第2章 国際機構

第3章 個人

本論 第一部 国際法の機能と限界

第4章 国際法の定立行為



第5章 国際責任の発生と解除

第6章 国際経済活動と国際法

第7章 国際紛争の処理と国際法

第二部 EC法の展開

第8章 ECの機構と構造

第9章 EC法の定立

第10章 EC法の適用

参考文献 内田・山本編著「国際法を学ぶ」(有斐閣), 皆川・山本編著「演習国際法」(青林書院新社), 祖川・小田編著「わが国裁判所の国際法判例」(有斐閣), ペスカトール著(小田監修大谷・最上訳)「EC法—ヨーロッパ統合の法構造—」(有斐閣)

## 国際機構論

助教授 丸山直起

現代国際社会の構造変動の分析を中心に講義する。

授業内容は以下のとおり。

1. 現代国際社会の生成と発展
2. 政策決定論
3. システム論
4. 総合理論
5. 紛争研究
6. 平和研究

## 国際経済法

教授 小原喜雄

第二次世界大戦後における国際経済法の特徴としては、(1)国際経済を規制する国際機関の飛躍的な増加、(2)発展途上国の括頭と経済的独立の要求、(3)多国籍企業の新展開と法的規制の要請などがあげられる。この講義は、これらの諸問題をふまえて、下記の内容で行う。

### I 国際経済組織法

#### A 国際経済の組織化

- 1 国際経済一般 UNおよび地域的経済委員会

2 貿易 ITO, GATT

3 通貨・金融・開発 IMF, IBRD, IFC, IDA

4 商品 商品協定

5 農業 FAO

6 エネルギー IAEA, OPEC, IEA

7 工業所有権 WIPO

8 地域的な経済協力・統合 OECD, EC, COMECON, LAFTA, ADB

B 発展途上国の括頭と経済的独立の要求

UNCTAD, UNIDO, 新国際経済秩序樹立に関する宣言と行動計画

### II 国際経済行為法

A 国際経済法の諸基準：互惠主義，内国民待遇，最恵国待遇，門戸開放，特惠待遇，衡平待遇

B 国際刑法——犯罪管轄権の諸原理

C 国際独占禁止法——独占禁止法の域外適用

D 国際租税法——二重課税の回避

E 国際投資法——投資保証，国有地

### <参考文献>

高野雄一『国際組織法』(新版)有斐閣

高野・筒井『国際経済組織法』東大出版会

金沢良雄『国際経済法序説』有斐閣

櫻井雅夫『国際経済法研究』東洋経済新報社

森下忠『国際刑法の新動向』成文堂

小原喜雄『ケース・ブック経済法』第2篇，蒼文社

## 国際取引法

フルブライト招聘教授 カルジャラ

本年度開講される国際経済法では、フルブライト交換教授のカルジャラ教授が、商取引法の後半の講義を並行して、ビジネス・プランニングという視点から、日本の企業がアメリカで事業活動を行なうについて必要とされる一般的理解を深めることを目的とする講義をします。商取引法を受講する学

生はこちらの方も必ず受講してもらいたく、また、アメリカ研究に関心のある学生にとっても勉強の一助とする絶好の機会であると思われます。

なお、商品取引法（後期）の欄を参照されたい。

## 管理科学通論

非常勤講師 浅利英吉  
(東海大学札幌教養部助教授)

近代の組織体の運営は既に人智を結集した科学の対象となっており、管理科学の名はここに由来する。管理科学通論では、まずこの学問と技術の連峰を広く展望し、ついでその脊梁山脈を形成する数理統計学へ入門する。

さらに、いくつかの数理手法—たとえば予測、シミュレーション、線形計画法—をとりあげ、その理論と実際を論ずることを通じて、管理科学を学ぶ基礎の養成をはかるものとする。

## 管理科学 I

助教授 若林信夫

前期は主として数理計画法と数理経済学的话题を講義し、演習を行なう。ナップザック問題、巡回セールスマン問題、不動点算法、および最大値原理。

後期はシミュレーションとプログラム言語 (SIMULA 67のサブセット) について講義し、演習を行なう。

参考文献; OR事典 (日科技連出版社), 経済学大辞典 (東洋経済新報社)  
G.M. Birtwistle, Discrete Event Modelling on Simula, 1979, Macmillan.

## 管理科学 II

助教授 樋口透

社会における諸問題 (たとえば、人口増加とその偏在、交通混雑、自然環境の破壊、エネルギー・食料危機、天災、戦争の恐怖、種々の社会不安など) について、これらをどのように解決してゆくべきであるかは近年特に重要な課題になっている。これらの問題に共通していることは、同時に考慮すべき多くの要素が複雑に係わり合っているため、安易な解決手段によると、新たに別の問題を生じたり、一時凌ぎの対策が後になってより大きな逆作用をもたらしたり、ある問題の解決が社会の別のグループにとってはまったく不都

合であったりというような、解決を困難ならしめる要因を含んでいることであろう。

このような問題に対処する方法論として、システムズ・アプローチと呼ばれる方法 (概念) がある。本講では、システムズ・アプローチの考えに基づいて、次のようなテーマで講義を行なう。教科書は用いないが参考文献は講義中に適時に指示します。

1. 社会システム
2. システムズ・アプローチの基礎概念
3. 社会システム分析のための各手法
4. 事例研究

## 管理科学特講 II

教授 沼田久

管理科学、行動科学等におけるモデルのいくつかの取り上げる予定。  
教科書、参考書は未定。

## 事務機械化

教授 山田一生

現代のマネジメントは、激動する環境の中で、たえずその環境の変化に適応するための経営革新を遂行しなければならない状況におかれている。本来事務機械化とは、事務作業の機械化を意味し、事務機械化の発展は、(1)事務作業そのものの解明。(2)事務システムの検討。(3)管理活動のルーチン化などの点からアプローチすることができる。ところが事務の本質上からして、次第に事務機械化が発展すると、一定の段階で質的に転化し、マネジメント職能の部分的機械化現象が必然的に生じるのであり、いわゆる経営機械化へと移行するのである。

したがって、現代の事務機械化は、単に事務作業の機械化のみを対象とするのではなく、特に現実の企業経営における情報処理機能の重視という観点から、管理のための準備業務を担当する管理事務機能の機械化、自動化を志向するものとなる。このように、現代の事務機械化は、経営管理と密接不可分の関係にあり、今日的には情報システムズ・アプローチの適用によって、さまざまな管理システムへのアプローチを登場させている。管理情報システ

ム (Management Information Systems) はもとより、そのアプローチの一方にすぎないのであるが、企業経営における情報システムの機能が重視されるとともに、単に情報を生産するだけでなく、豊富な情報の中から真に経営意志決定に役立つ情報を検索し提供するシステムとして究明される。すなわち、管理情報システムは、経営管理への情報システムズ・アプローチとして展開されるのである。

ここで、経営情報論の生成過程について、MIS研究の立場からの体系的検討を試みるとすれば、まずMIS前史としての事務管理論(事務の機械化レベル)から、経営事務管理論(管理の機械化レベル)、経営情報管理論(経営の機械化レベル)へと発展段階的にとらえるのであり、さらにはより人間中心的なアプローチである経営組織管理論(組織システムのレベル)へと展望されるであろう。本講座では、これらの詳細についても考察する予定である。

テキスト：山田一生著『企業組織管理論』(文真堂、予刊)

参考文献：参考文献は多数あるので、講義の中で必要に応じて、その都度紹介することにしたい。しかしながら、特に開講時点をあげてみれば(イ)J. E. ロス著、鈴木・山田共訳『現代経営のシステム理論』(日本経営出版会)、(ロ)宮川公男著『意志決定論』(丸善株式会社)、(ハ)田中次男『MISの新展開』(日刊工業新聞社)の三冊であろう。

## 情報処理

講師 杉本英二

この講義では、理論編と応用編に分けて情報処理に必要とされるいくつかの基礎的なシステムを解説する。

### I 理論編

- (1) デジタルシステムの枠組
- (2) 確率的デジタルシステム
- (3) 逐次的デジタルシステム
- (4) 確率的程的デジタルシステム

### II 応用編

- (1) オペレーティングシステム

(2) 情報検索システム

(3) 質問応答システム

テキスト：J. M. Motil, "Digital System Fundamentals, McGraw-Hill, Kogakusha."

参考書：必要に応じて講義で指示する。

## 応用数学(代数)

教授 沼田久

経済学、管理学、行動科学、統計学等の勉強を進めるために必要な線形数学を講義する。ベクトル空間、行列、行列式、線形不等式、凸集合等々の諸概念に慣れること、行列やベクトルを含む演算に慣れること、線形計画問題の解法の初歩に触れること、線形数学が経済学や経営科学にどのように応用されているかを知ることなどである。計算機論I、応用数学(解析)、管理科学通論とともに管理科学科の学生は必ず履修することが望ましい。

この科目を履修しているうちに、現代の経済学を学ぶには線形数学の素養が不可欠であることを悟るに至るであろう。その意味で、この科目はむしろ経済学科や商業学科のなめに開設されているようなものである。

高等学校的な数学の得手、不得手とはあまり関係はない。ただし若干の数学的センス(論理的能力と言ってもよい)または若干の根気のあることが望ましい。「ベクトルなんて高校で習ったことだから大したことはないだろう」とたかをくくったような態度で履修をすると失敗するであろう。

当然のことながら、最後まであきらめずに頑張り通す者に好意を寄せたくなるのは人情であろう。

教科書：沼田久著「線形数学序説」(学術図書出版)

## 応用数学(解析)

非常勤講師 小林正忠  
(専修大学北海道短期大学教授)

テキスト

著者 松田正一

洲之内治男

杉山 昌平

ORのための基礎数学 丸善株式会社発行

内容 前期 差分方程式  
後期 微分方程式

差分方程式は出席して、慣れることが大切です。むずかしい数学ではなく、諸君が今日までに学んだ関数と異っている関数を取扱います。内容は、

- 1 差分, 2 和分, 3 差分方程式(線形差分方程式)
- 4 差分演算, 和分演子, 5 差分法と微分法の関係
- 6 経済学への応用

微分方程式の内容

- 1 求積法, 2 2階線形微分方程式, 高階線形微分方程式, 3 微分演算子, 4 初期値問題と境界値問題, 5 ラプラス変換, 6 経済学への応用
- 5, 6は時間の都合で、講義できないことになっておと思っています。

## 応用数学(統計Ⅱ)

助教授 清水川 緋紗子

数表 簡約統計数値表 日本規格協会  
テキスト 未定

## 計算機論Ⅰ

(前期) 講師 杉本 英二  
(後期) 助教授 樋口 透

この講義では、計算機についての一般的知識を与えるのではなく、学生諸君が、とにかくプログラムを作って計算機をどうにか動かせるようになるまでの手助けをするつもりである。一年後にはかなりのプログラム読解力と作成力とがつくでしょうが、かなりの手間も必要です。だから単位数だけを望む学生は遠慮願います。

前期：講義の重点は言語の学習とする。プログラム言語の中でも、最も広く使われ、最も簡単なフォートランを取上げる。毎回の講義で、新しい事項について解説しこれについて直ちに30分程度の紙上演習を行う。プログラミングというのは、まず使われなければ理解が進まないのです、この演習は欠かせない。効果的な演習をするために、単位取得基準を各演習の得点合計が70%を超えた者とする。無断欠席は得点合計が減るので注意すること。この基準に満たない者は履修者名簿から除外し、後期の出席を認めない。なお計算

機を使った演習は、計算センターの規則に従って自由に行ってよるしい。

テキスト：森口繁一「JIS FORTRAN入門〔上〕第2版、東京大学出版会。

後期：演習の重点は計算機を使ってのプログラム作成とする。プログラムは書かれたままでは計算機を動かすことはできない。端末装置のキーをたたいてプログラムを計算機に入れ、これを翻訳させなければならない。このとき、計算機は独特な表現でその結果を伝えるために、従来多くの学生がここで苦労しているようだ。計算機の初等教育での演習のねらいの一つにこのような機械に慣れることが含まれているので、それ相当の覚悟が必要である。一方、講義では計算機システムについての一般的理解のための基本的な事柄の解説と、応用問題の解説を行う予定である。

テキスト等については後に提示する。

## 計算機論Ⅱ

教授 戸島 颯

記号処理言語 Lisp を解説することを通じて情報科学への入門をはかる。講義と並行してLispでプログラムを作ってもらう。テキストとしては、近刊の「記号処理の基礎と応用」(情報処理叢書)または

L. Siklóssy; *Let's talk LISP.*

の訳本を使用する予定であるが、詳しくは開講時に指示する。

人 員 岡 宮 豊雄

志 音 輝 輝 英

## 6 教職科目

### 教育原理

講師 増井三夫

本講義では、人間の高次精神機能の機制の分析をとうして、人間の発達に教育がいかにかかわっているのか、という基本的な問題を中心に考察する。ヴィゴツキー（かれの高次精神機能の発達法則）とピアジェとの論争、あるいはレニングラード学派とモスクワ学派との論争など、教育学、心理学との重要な論争がいくぶん詳しく分析されるので、下記の本を用意しておいてほしい。

- ・ヴィゴツキー 『思考と言語』(上)(下) 明治図書
- ・ハヴィンシュティン 『心理学』(上) 青木書店
- ・ピアジェ 『思考の心理学』 みすず書店

#### 参考文献

『現代教育学の基礎知識』(1)(2) 有斐閣

### 商業科教育法

### 英語科教育法

助教授 宮岡伯人

英語教育の諸問題を、下記テキストを素材として考えていくが、その中刻となる「ことば」そのものについての理解を深めること、ならびに日本語と英語の対照研究にもかなりの時間をさく予定である。

テキスト： 大沢茂他「現代の英語科教育法」(南雲堂)

### 道德教育の研究

非常勤講師 浅井正三

(北海道女子短期大学教授)

道德教育の根本問題について学生の理解を深めることを目的とします。主な内容は：

わが国の道德教育の歩み。

諸外国に於ける道德教育。

道德教育の基盤。

参考文献は必要に応じて講義中に指示します。

### 教育史

講師 増井三夫

「教育権」の歴史分析をとうして、教育の歴史的発展過程を考察する。そのさいとくに近代ヨーロッパの教育史がいくぶん詳しくとりあげられることになる。

#### テキスト

堀尾輝久 『現代教育の思想と構造』 岩波書店

#### 参考文献

牧証名 『教育権』 新日本新書

『基本的人権』 東京大学出版会

長尾十三二 『西洋教育史』 東京大学出版会

### 職業指導

非常勤講師 石井茂

(北海道教育大学札幌分校教授)

英語 (上級Ⅲ) 講師 下村 五三夫

英語教員志望者を対象にして、変形生成文法を基礎から応用まで指導します。テキストはJ・H・Herndon著の *A Survey of Modern Grammars* を使います。クラスは演習形式で進めます。生成文法の予備知識は必要としません。

英語 (上級Ⅳ) 助教授 豊国 孝

Text: D. H. Lawrence, *Love among the Haystacks & Other Stories*, Penguin Books. ¥720  
イギリスの作家D. H. ロレンスの初期から後期にかけての中篇小説を読み、ロレンス文学の味わい方を研究する。

英文学Ⅱ 教授 永原 和夫

英語学Ⅱ 教授 武本 昌三

Joseph H. Greenberg: *A New Invitation to Linguistics*.  
(英語学序説)  
成美堂 ¥1,700

Ⅲ 研究指導要項

麻田教官担当研究指導

- 1 研究主題  
国際経済学 (理論および政策) の諸問題
- 2 指導要項  
3年生は原書 (英語) の輪読。卒業年次生は個別テーマによる卒論指導
- 3 テキストおよび参考書  
未定。後日一括発生。

足立教官担当研究指導

- 1 研究主題  
国際金融に関する諸問題……国際通貨制度、為替相場制度、金問題  
SOR, L/Cなど。
- 2 指導要項
  - (イ) 全般……小樽商科大学の卒業生として恥ずかしくないだけの国際的視野と語学力の養成に重点を置く。
  - (ロ) 3年次……国際金融の基礎理論と実際およびこれらに関連した語学力の養成, 3年次生は必ず国際金融を履修し, 単位を取得すること。万一, 単位を取得できない場合は自動的にノンゼミに移行する。
  - (ハ) 4年次……個別的研究指導および卒業論文
- 3 指導テキストおよび参考書
  - (イ) 3年次……講義のはじめに指示する。
  - (ロ) 4年次……プリンストン大学国際金融双書などを用いる。

井上教官担当研究指導

- 1 研究主題  
西洋経済史研究  
産業革命期から19世紀末「大不況」期にいたるイギリス資本主義発達史を研究します。特にこの期のイギリス経済史・社会史・政治史等の

総理解に重点を置きたいと思います。

## 2 指導要領

19世紀イギリス経済史・社会史・政治史等に関する何冊かの入門書的文献（英文）を通読します。その際、次の点に留意します。

- (1) 英語文献を早く正確に読むことに慣れること。
- (2) これらの文献を通して、19世紀イギリス資本主義発達史に関する総合的な理解を深めること。
- (3) 同時これらの文献のなかから各目興味のある研究テーマを選択して卒業論文の作成準備にとりかかること。

## 3 指導テキストおよび参考書

Studis in Economic and Social History, Seminar Studies in History (いずれもイギリスの学生むけ歴史入門書シリーズ)のなかから数冊を選ぶ予定です。

## 長谷部教官担当研究指導

### 1 研究主題

日本経済あるいは北海道経済にかんする統計的分析

### 2 指導要領

個別テーマによる研究・報告・討論

ただし3年次はテキストの輪読

## 早見教官担当研究指導

### 1 研究主題 財政学（公共財理論，租税論，公債論，財政政策論）

専攻テーマは上記のごとくであるが、ゼミはその前提ないし基礎として、ミクロ，マクロの経済理論や所得分配論を原書でよんでいる。

### 2 指導方針 3年次では上記の方針にそって，原書をよむ，今年度では，以下をテキストとしている。

Ackley, G., *Macroeconomics: Theory and Policy* (Macmillan, 1978), pp. 731.

上記を読了ののち，個別テーマの報告にうつり，3～4回の報告義務があ

る。

### 3 申込条件 経済学科を優先する。経済学概論を履修済みとのこと。また，数学，統計学，経済原論 I を履修しておることが望ましい。

英語文献をかなりの速度で毎週すすむので，英語に力がないと困難なようである。

## 久次教官担当研究指導

### 1 研究主題 統計学の数理的方法論に重点をおいた研究

### 2 研究要領

3年次：テキストの精読・討論・演習。

4年次：追加文献の講読および卒業論文の作成

### 3 指導テキスト

4年生次：Intrilligator, *Econometric Models, Techniques & Applications*

3年次生：H. Theil, *Principles of Econometrics*

### 4 申込みの条件

「統計学」を履修中または履修済みであること。

### 5 その他

解析学（偏微分など），線形代数（固有値問題など），プログラミング（FORTRAN）については2年次までに修得しておくこと。

## 藤井教官担当研究指導

### 1 研究主題

さし当り，マクロ分析

### 2 指導要領

卒論の作成のための準備と卒論作成

### 3 指導テキストおよび参考書

まずDornbush & Fisher の *Macroeconomics* をテキストとして読む（リプリント版 1900円くらい）

## 増井教官担当研究指導

### 1 研究主題

景気変動の理論的・実証的研究

ポスト・ケインジアン=ポスト・フリードマニアン=マクロ経済学総合による経済変動理論のレビューおよびわが国現代経済の実証的研究をテーマとする。

### 2 指導要領

第1年目：基礎的文献の輪読（Beareのテキスト）

第2年目：個別研究発表と卒業論文作成

### 3 指導テキストおよび参考書

John B. Beare, *MACROECONOMICS, CYCLES, GROWTH, and*

*POLICY in a MONETARY ECONOMY:*

新保生二, 『現代日本経済の解明—スタグフレーションの研究—』など。

## 吉武教官担当研究指導

### 1 研究主題

「公共部門の経済学」

### 2 指導要領

(イ) 3年生は下記英文をよむ

(ロ) 4年生は各自卒論にとりかかる

### 3 指導テキスト

H.S. Ferns, *The Disease of Government* (London: Maurice Temple Smith, 1978), pp. 140.

A. Marshall, *Principles of Economics* (8th ed., London: Macmillan & Co. Ltd.) Papermac edition.

## 遠藤教官担当研究指導

### 1 研究主題

計量経済モデル

### 2 指導要領

下記テキストの輪読。

4年次生はさらに卒業論文の作成。

### 3 テキスト

M. D. Intriligator, *Econometric Models, Techniques, and Applications*, Prentice-Hall, 1978。

## 釜江教官担当研究指導

### 1 研究主題

金融構造の実証的研究

### 2 テキスト

3年生は J. T. Boorman et. al, *Money Supply, Money Demand, and Macroeconomic Models*, AHM Pub. Co

### 3 その他

3年生は金融経済論を履修すること。

## 野沢教官担当研究指導

### 1 研究主題

古典経済学の生誕とその構造

アダム・スミス『国富論』ととりあげて、近代市民社会を経済学的に把握する。

### 2 指導要領

2年間で『国富論』の基本篇を輪読する。討論の主要な対象は、分業論・労働価値論・剰余価値論・自然価値論・3所得論・再生産論・蓄積論・銀行信用論。

卒論は4年次に各自が経済学史のなかからテーマをみつけて作成する。

### 3 指導テキストおよび参考書

*The Wealth of Nations* [1776] Ed. by E. Caonan, the Modern Libuary.  
大内・松川訳『諸国民の富』, 岩波書店



## 長谷川教官担当研究指導

### 1 研究主額

日本経済史、本年度は近世封建社会の解体過程に重点を置く。

### 2 指導要項

第1段階 日本の近世（幕藩体制）社会と明治維新についての概要と歴史的思考の理解。

第2段階 下記テキスト等により、近世経済史の主要課題を史料と個別論文に則して学ぶ。

なお各自の卒論テーマは、近世および経済史に限定しないが、3年次末までに方針を確定してほしい。

### 3 指導テキストおよび参考書

第1段階 山口啓二・佐々木潤之介著『体系日本歴史4・幕藩体制』日本評論社、1,500円

第2段階 乾宏巳編『史料大系日本の歴史5・近世2』大阪書籍株式会社、2,800円。その他。

### 4 申し込みの条件

歴史学・社会学・経済史概論・経済原論Ⅱ等を履修することが望ましい。

### 5 選考の方法

本年度はレポート審査と面接による。

### 6 その他

ゼミとしての共同の作業や行動を大事にしてほしい。また積極的な研究意欲を期待する。

## 鶴沢教官担当研究指導

### 1 研究主題

一般均衡理論

### 2 指導要領

3年次では、外国書（英語）による輪読、その他の論文を読む予定。

4年次では、個別テーマに基づく卒論作製のための報告と討論を中心にする。

### 3 指導テキストおよび参考書

E. Malinvaud, *Lectures on Microeconomic Theory* を予定(昭和55年度)。

参考書：二階堂副包『数理経済学入門』（日本評論社）、1971）。

新開、新飯田、根岸『近代経済学』（有斐閣、1972）。

カーク＝サポスニック（田村、橋本訳『一般均衡理論と厚生経済学』（東洋経済新報社、1971）。

### 4 申し込みの条件

経済学概論、数学を履修済で、経済原論Ⅰを履修中または履修済みの事。英語の読解力が高いこと。積極的、協調的な人。

## 小平教官担当研究指導

### 1 研究主題

経済理論

私の能力の問題もあり、価格理論に限らせてもらいます。

### 2 指導要領

経済理論の基礎的な概念を修得する事を目標とします。

### 3 指導テキストおよび参考書

E. Malinvaud, *Lectures on Microeconomic Theory* (North-Holland, 1972)。

## 佐竹教官担当研究指導

### 1 研究主題

国際経済学、特に1970年以降の諸国際経済問題の理論的研究

### 2 指導要領

3年生は国際経済学の基本的な考え方と分析道具を身につけるために、国際経済学のテキストを読む。

4年生は卒業論文の作成

### 3 テキスト

Kreinin, Mordechai, E. *International Economics: A Policy Approach*, Harcourt Brace Jovanovich, 1975.

Kindleberger, Charles, P. and Lindert, Peter, H. *International Economics*, Richard D. Irwin, 1978.

Caves, Richard, E. and Jones, Ronald, W. *World Trade and Payments*, Little, Brown and Company, 1977.

のいずれか。

### 久野教官担当研究指導

#### 1 研究主題

会計学（簿記学をふくむ）。

#### 2 指導要領

3年次：わが国の『企業会計原則』の批判的研究と外書講読を中心にして基礎的知識を修得させる。

4年次：卒業論文の指導—各人の発表をもとにしてディスカッションを行なう。

#### 3 指導テキストおよび参考書

3年次の後半において使用する外書は学生諸君と相談のうえ決定する。

#### 4 申し込みの条件

2年次終了時において語学その他の基礎教育科目の所要単位を取得し、かつ簿記学の単位を優秀な成績で取得可能な者。

#### 5 その他

ゼミという組織にかんがみ、ゼミに求める以上にゼミに貢献できる人物を望みます。

### 鈴木教官担当研究指導

#### 1 研究主題

国際資本移動（間接資本移動）

#### 2 指導要領

3年次：基礎的文献の講読

4年次：卒論指導

#### 3 テキスト

G. Dufey and I. H. Giddy. *The International Money Market*, Prentice-Hall 1978.

R. I. Mckinnon, *Money in International Exchange*, Oxford, 1979.

### 石原教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

証券市場論，証券市場の歴史（日・米），金融市場構造。

#### 2. 指導要領

基本文献の講読，報告，討論およびレポート作成。

#### 3. 履修要件

経済原論Ⅰ，Ⅱ，経済史概論を履修済みが望ましい。

#### 4. 使用テキスト

川合一郎『株式価格形成の理論』（4年）

### 篠崎教官担当研究指導

#### 1. 研究主題

経営学における人と組織の方法論

近年の経営学が、組織論を中心としてコンティンジェンシー理論のように専門化の度を強めているが、それが現象把握のための手法学に止まる限り、技術論の枠を脱却することは出来ない。また、われわれは、一方に国際的に急迫した経営実態を踏まえ、他方に方法的混沌を控えて、なおのこと。経済学とは何かという根源的問題を理論の立場から受止めねばならない。かかる状況において、重要な問題視角の一つとして提起されている組織論を取上げて、それを正當に経営学に位置づける作業をなさねばならない。しかし、それは今に始ったものではなく、容易に片附く問題でもない。われわれは、マルクスとヴェーバー、さらには論理実証主義といった方法論の対立を自覚し、かかる対立の中から自立する理論的場を確立し、さらに振返って現実の経営現象へと新鮮素直な眼を差向けなければならない。

- 2 指導方針  
当初、社会科学的なものの考え方を基礎的に固め、漸次具体的組織論へと進み、最終的には、卒論の作成へと導く。
3. テキスト、参考書  
大塚久雄「社会科学の方法」、内田義彦「社会認識の歩み」、同「資本論の世界」以上岩波新書、バーナード「経営者の役割」ダイヤモンド社、ペロー「現代組織論批判」早大出版部、篠原三郎「現代管理論批判」新評論

### 辻原教官担当研究指導

1. 研究主題 経営史研究の諸アプローチの探究、そして具体的適用。
2. 指導要領  
3年次生：基本的文献を読み、理解を深める。(指導テキストの項参照)  
4年次生：卒業論文作成
- 3 指導テキスト  
Thomas C. Cochran, Business in American Life. McGraw-Hill, 1972  
Thomas C. Cochran, 200 Years of American Business, Delta Book, 1974.
- 4 その他  
(1) 歴史に興味があること。  
(2) 毎週それ相応の努力を必要とするので、できない人は申し込まないこと。  
(3) 協調性のない人は申し込まないこと。(ゼミ旅行, コンパ等)  
(4) 将来、学究の道を志す人は歓迎する。

### 中教官担当研究指導

- 1 研究主題  
管理会計
- 2 指導要領

- 3年次生：管理会計についての概観と基本的な概念の理解をえるために下記の文献を講読する。ついでできるだけ早く各自の自主的研究へ進んでもらう。

Dopuch, N., J. B. Birnberg, and J. Demski  
Cost Accounting: Accounting Data for Management's  
Decisions, Second Edition.  
Harcourt Brace Jovanovich, Inc., 1974. (¥2,980)

- 4年次生：卒業論文作成の指導—各自の選択したテーマについて報告してもらおう。

3年次生は、4月のゼミ開講までにつきの参考書を読んでおくこと。

(1) 佐藤精一著「線型計画法による予算管理モデル」 同文館  
昭和48年

(2) H・ビヤマン, A・R・ドレービン著 佐藤精一・吉川武男訳  
「管理会計」中央経済社 昭和54年

- 3 申込みの条件

2年次終了時に簿記学の単位を取得可能なもの

### 中橋教官担当研究指導

- 1 研究主題  
経営管理論、とくに戦略論と組織論を中心とする。
- 2 指導要項  
3年次：下記テキストの講読。できるだけ早い時期に個人研究のテーマをきめるようにしたい。  
4年次：個人研究の報告とディスカッションの積み重ねによって、卒論を作成してもらおう。
- 3 指導テキストおよび参考書  
F・T・Paine and W・Naumes,  
Organizational Strategy and Policy.  
2nd ed. 1978. W. B. Saunders Co. ¥2,780

## 福島教官担当研究指導

### 1. 研究主題

原価計算および管理会計

### 2. 指導要領

3年次：前半では原価計算の基礎知識を修得し、ひきつづき外国書（英文）の輪読によって知識を深める。

4年次：各自選択した卒業論文のテーマにもとづいて発表と討論をおこなう。

### 3. テキストおよび参考書

テキスト：3年次前半では松本雅男、『原価計算』（国元書房，1971），後半の外国書については未定。

参考書：ゼミの時間に適宜指示するほか、春・夏・冬の各長期休暇には一冊ずつ参考書を読む——さしあたり、ゼミ開始前の春期休暇には沼田嘉穂、『原価計算・工業簿記教科書』（同文館，1978）。

### 4. 留意事項

ゼミ生は旺盛な研究意欲とならんで地道な学習努力を要求される。

## 斉藤教官担当研究指導

### 1. 研究主題

商品の使用価値を中心とした価値並びに現代における商品の社会的価値をミクロ的には、品質要因、価格要因、販売活動要因（広告など）さらに、マクロ的には、資源環境要因、生活環境要因とも関連づけて追求する。

### 2. 指導要領

(イ) 全般：上記の主題に関する原書や論文を講読し、報告、討論を通じて理解を深める。

(ロ) 55年度：入門書的な原書を講読し、基本的知識の修得とその応用能力を養う。

(ハ) 56年度：個人テーマによる文献講読と卒業論文の指導

### 3. 指導テキストおよび参考書

使用テキスト L. Abbott Quality and Competition (1972)

その他 商品政策，消費者保護政策，社会生態的マーケティングに関する参考書

## 和田完教官担当研究指導

### 精神障害と職業

精神障害の準備因としての労働環境，職場における人間関係，職種，失業等々の要因を，心理学的，あるいは社会病理学的な立場から考察し，その原因の分析，治療，予防等への接近を試みる。

文献は随時指定（貸与，コピー，購入かをその都度指示）し，できるだけ多読してもらう。また，関連施設の見学，実地調査も並行して行なわれよう。

## 大谷教官担当研究指導

### 1. 研究主題

国際社会における法秩序の研究（国際法，国際組織法，国際経済法，ヨーロッパ共同体法を含む）。

### 2. 指導要領

3年次：原書講読

4年次：卒論作成指導

### 3. 指導テキストおよび参考書

所属決定後相談の上決定する。

## 小原教官担当研究指導

### 1. 研究主題

多国籍企業の市場行動と法的規制

多国籍企業の競争制限行為とその法的規制上の諸問題を扱う。

### 2. 指導要領

3年次生：下記テキストの講読

4年次生：卒論テーマによる指導

### 3. 指導テキスト

OECD, Restrictive Business Practices of Multinational Enterprises.

#### 参考書

小原「多国籍企業の競争に及ぼす影響」商学討究27巻3・4合併号  
(1977年3月), 松下満雄『独占禁止法と国際取引』

### 神田教官担当研究指導

先般の応募要綱に述べたとおりだが、テキストを次のように変更する。

加藤一郎・谷口知平「新版・民法演習1.2.3」(有斐閣)

但し、先に予定した書物は参考書として入手しておくことが好ましい。

### 青竹教官担当研究指導

#### 1 研究主題

会社法の研究

#### 2 指導要領

(イ) 全般：会社法が現実の企業活動とどのようにかかわっているかを、判例・学説上問題とされているいくつかの具体的素材をとおして理解してもらい、そのうえで、最近とくに問題となっている小規模閉鎖会社の法規整について検討することにする。

(ロ) 55年度～56年度前期：使用テキストのうちいくつかの問題を選び、報告・討論してもらう。

(ハ) 56年度後期：各自の選択による卒論の作成と、そのための報告・討論をしてもらう。

#### 3 指導テキストおよび参考書

(1) ジュリスト別冊『会社判例百選(第三版)』有斐閣

(2) ジュリスト別冊『商法の判例(第三版)』有斐閣

(3) ジュリスト増刊『商法の争点』有斐閣

(4) 鈴木他編『新商法演習1,2』有斐閣

(5) 青竹正一『小規模閉鎖会社の法規整』文真堂

#### 4 その他

無断欠席者は除名することになっています。

### 道幸教官担当研究指導

#### 1 研究主題

労働判例の研究。それを通じて正確な文章理解および討論の仕方を身につけることを目的とする。

#### 2 指導要領

3・4年次を通じて労働判例を徹底的に読む予定。3年次前半は、裁判例の事実関係と判決要旨を二千字に要約するレポートの提出を毎回全員に義務づける。3年次後半および4年次は、判決批評及び論点のコメントをしてもらう。なお、判例集掲載の判決文を使いますので、コピー代および勉強の負担はかなりある。

#### 3 指導テキスト

判決文はその都度指定する。労働法の最近の傾向を知るために一応「労働法の争点」を用意すること。

#### 4 申し込みの条件

成績優秀でなくとも知的好奇心があること。

### 丸山教官担当研究指導

#### 1 研究主題

国際関係の研究

#### 2 指導要領

理論的研究と個別テーマの実証研究を行う。

3年次生——国際関係の理論研究。

4年次生——個別テーマの研究と卒業論文の準備。

#### 3 テキスト

鴨・山本編著『相互依存の国際政治学』有信堂

Kenneth N. Waltz, Theory of International Politics,  
Addison-Wesley, 1979.

## 結城教官担当研究指導

- 1 研究主題
  - (イ) 近代立憲主義の基本原則
  - (ロ) 最新憲法判例の検討
- 2 指導要領
  - (イ)を年間のテーマとし、後に指定する文献を講読、討論する。この間、新たな憲法判例が出された場合、随時これを検討する。
- 3 指導テキストおよび参考書
  - (イ) ロック『市民政府論』（岩波文庫）、ルソー『社会契約論』（岩波文庫）、シェイエス『第三階級とは何か』（岩波文庫）

W. F. Willoughby, The Government of Modern States.  
(Part I, Part II をコピーして使用)

  - (ロ) 判例時報を随時使用

## 戸島教官担当研究指導

- 1 研究主題
  - リスト処理言語 Lisp とその処理系の研究。具体的には、たとえば、次にあげるような項目がテーマとなる。リカージョン (recursion), ガーベジ・コレクション (garbage collection), FUNARG問題, ラムダ ( $\lambda$ ) 一算法, ハッシング (hashing), 記号処理, Lispコンパイラ, 人工知能。
- 2 指導要領
  - 各自の興味のもちようによりそれぞれ異なった研究指導をする。
- 3 指導テキストおよび参考書
  - L. Siklossy; Lets Talk LISP, Paentice-Hall, 1976
  - J. Allen; Anatomy of LISP, McGraw-Hill, 1978.
  - P. Winston; Artificial Intelligence, Addison-Wesley, 1977.

## 沼田教官担当研究指導

研究主題 オペレーションズ・リサーチ

管理科学は世の中の様々なことがらを、取扱い対象とするものである。社会的現象、自然的現象、心理的現象等々広く好奇心をもって観察する態度が望ましい。

テキスト H. Taha, Operations Research, Collier Macmillan, 1976.

## 山田教官担当研究指導

- 1 研究主題
  - Decision Support Systems for Organization and Management. 組織管理と情報システムに関する理論的ならびに実証的研究。(本ゼミ活動ばかりでなく、サブゼミ活動も併行しながら、種々の事例研究を通じての具体的Modelsの開発研究も予定している。本年度は、特に Decision Support Systems for Data Base Accountingというプロジェクト研究への共同参加を通じて、上記の目的を達成する予定である。)
- 2 指導要領
  - (イ) 全般：現代組織管理に役立つ情報システム設計のための基礎理論と応用能力の涵養をはかり、明日の組織管理者あるいはシステム・エンジニアとしての適応力を高めることを目標とする。
  - (ロ) 55年度：使用テキストに従い、輪読形式で討論をすすめる。サブゼミ活動も同時併行する。
  - (ハ) 56年度：各自のテーマによる卒業論文の指導と完成。種々の事例研究を通じて理論と実践との橋渡しをはかる活動も同時併行する。
- 3 指導テキストおよび参考書
  - 1978年ノーベル経済学賞受賞のH・A・Simon教授の主要文献ならびにM・S・Morton教授にはじまるDecision Support Systemsに関する主要文献について取り上げる予定である。(なお、詳細な学習計画については、参加者と相談の上決定する。)
- 4 申込みの条件
  - 上記の研究活動への積極的な参加意欲と行動力をそなえた人物であり、しかも学習活動を継続するための時間余裕と基礎的学力に支障のないことを条件とする。真の人間の尊重をめざした道具としてのコンピューター活用の実現に向けて全力投入できる努力家を歓迎する。

5 その他

現在進行中のプロジェクト研究は、(1) Data Base Accounting, (2) Auto-Library Information System, Organization Decision Support System (4) Urban Dynamics, (5) Project Planning & Budgeting, (6) Educational System Dynamics に関する Decision Support System である。H・A・Simon によれば、将来の組織科学の動向は、(a) 新しい制度派経済学、(b) 経営実践の国際比較、(c) 状況理論の研究、(d) 組織・管理と情報システムとの関連研究であるが、本研究指導上での方向性とも基本的に一致するものと考えている。

樋口教官担当研究指導

1 研究主題

社会システムに関する理論的および実証的研究

2 指導要領

テキスト講読、調査、データー解析、モデル構築

3 使用テキスト

北川敏男編「講座 情報社会科学」学研 など

若林教官担当研究指導

1 研究主題

「管理科学の基礎的研究」

対象とするシステムが国民経済であれ、企業経営であれ、あるいは計算機システムであれ、それらの管理システム/管理プロセスの抽象化を通してシステムの最適化を各種の接近法から追求する。

2 指導要領

- (イ) 管理科学の幅の広いものの見方、考え方を養う。
- (ロ) テキストの精読と演習。
- (ハ) 経済的(あるいは構造的)プログラミングの習得。
- (ニ) 下記のテーマについての卒業論文の作成。
  - ・シミュレーション
  - ・数理計画法

・プログラム言語

・オペレーティングシステム

3 指導テキストおよび参考書

- (1) G.M. Birtwistle, "Discrete Event Modelling on Simula," 1979.
- (2) Martin Richards, "BCPL... The Language and Its Compiler," 1979.
- (3) アルゴリズム + データ構造 = プログラム (日本コンピューター協会) 1979.

杉本教官担当研究指導

1. 研究主題: 代数的システムの情報処理への応用研究

信頼できる情報処理システムの実現のためには、数学的構造に裏うちされた系統的方法を確立することが今日の課題のひとつである。

2. 指導要領

- (イ) 全般: 構造的システムの構成力の涵養を中心とする。
- (ロ) 55年度: 計算機科学への応用代数を修得する。特に代数システム、数理論理学、オートマタ、グラフなどの理解を深める。
- (ハ) 56年度: 各自の卒業論文のテーマにそって、具体的システムを組み上げ、その過程で構造的システム技術の修練を行う。

3. 指導テキスト, 参考書

- J. M. Motil, Digital System Fundamentals, McGraw-Hill Kogakusha.
- A. Gill, Applied Algebra for the Computer Sciences, Prentice-Hall.
- J. Martin, Computer Data-Base Organization, Prentice-Hall.
- T. ウィノグラード, 言語理解の構造
- 藤野精一, プログラミングの基礎

4 申込みの条件

計算機科学の理論屋、技術屋を目的とする者で、数学とプログラミングを苦にしない者。

5 その他

計算機科学の分野は、計算機の適用分野の研究、適用する計算機システムの設計研究と構築技術の修練、計算システムの基礎研究に大別されよう。本ゼミでは、適用分野を人工知能関係に限定してシステム設計・構築技術・基礎研究の全般的理解をめざす。

### 一般教育ゼミ

講師 兼 岩 龍 二

現代数学を学んでみたい本学生諸君のために開講される。本年度は紆余曲折の末、位相数学 (Topology) をやってみようということになった。予備知識はほとんど必要としません。また学年は問いません。希望者と知的好奇心の持ち主は、ともかく4月25日(金)午後5時に新研究棟(管理棟の南)4階の小生の研究室に集まってみて下さい。

### 一般教育ゼミ (ドイツ語中級)

教授 中 川 勇 治

既にドイツ語Ⅱを履修した人々を対象とします。テキストは未定ですが、レクラム文庫を使用する予定です。参加希望者は、4月24日(木)昼休みに小生の研究室へ集まってください。

### 一般教育ゼミナール (スペイン語上級) 助教授 寺 崎 英 樹

スペイン語の読解力ばかりでなく、表現力も高めることを目的とする。参加資格は、スペイン語Ⅰ、Ⅱを履修済みであること。読むテキストとしては、Ortega y Gasset の評論を予定しているが、最終的には、参加者と相談の上決める。参加希望者は、4月末までに研究室へ連絡してください。